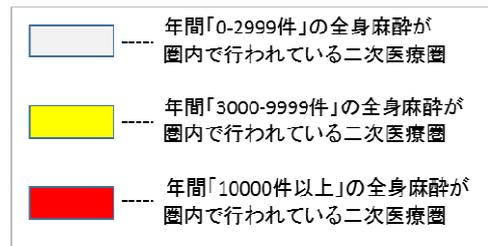
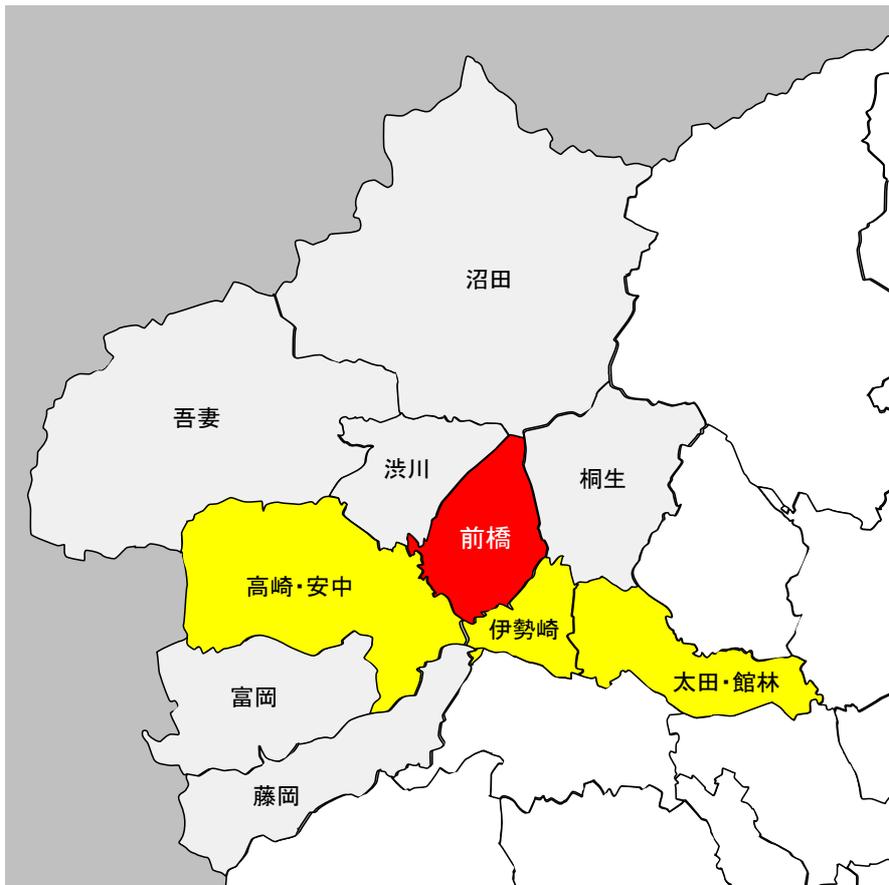


10. 群馬県



目次

群馬県	10	-	3
1. 前橋医療圏	10	-	9
2. 高崎・安中医療圏	10	-	15
3. 渋川医療圏	10	-	21
4. 藤岡医療圏	10	-	27
5. 富岡医療圏	10	-	33
6. 吾妻医療圏	10	-	39
7. 沼田医療圏	10	-	45
8. 伊勢崎医療圏	10	-	51
9. 桐生医療圏	10	-	57
10. 太田・館林医療圏	10	-	63

群馬県

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は30,425人(-2%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1,017人(30%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は225人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

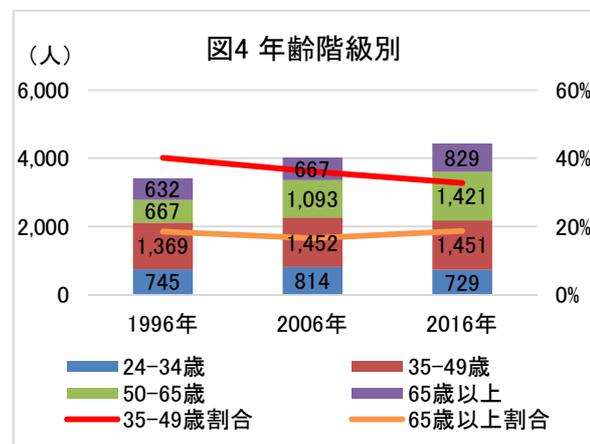
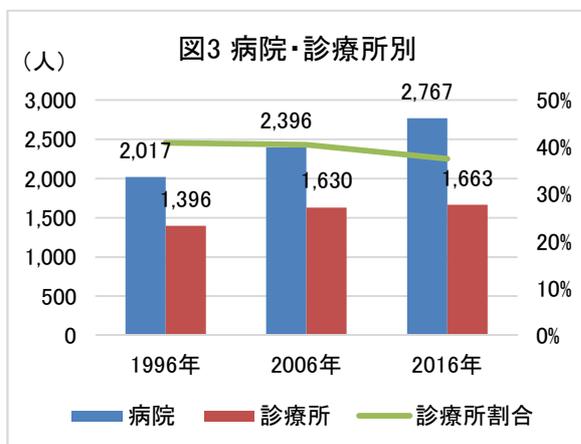
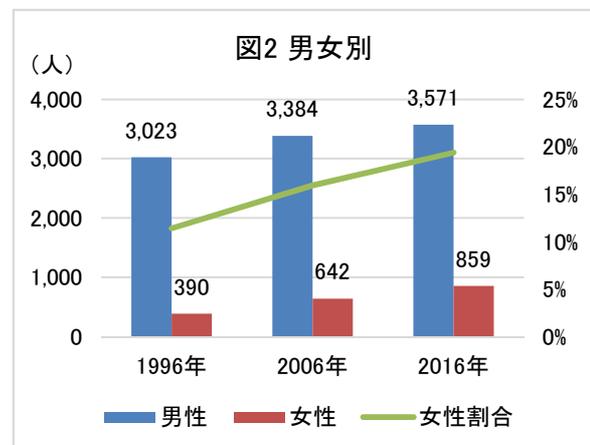
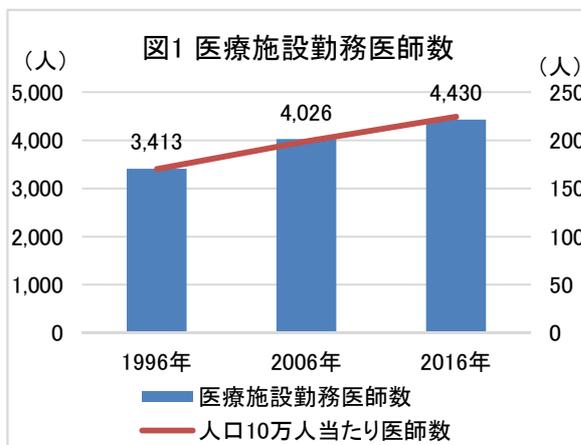
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて548人(18%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に469人(120%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は19%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて750人(37%)増え、全国平均(37%)と同程度の増加率である。診療所医師は、同期間に267人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は82人(6%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて197人(31%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年19%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

群馬県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,003,540	2,024,135	1,973,115	-30,425	-2%	20,595	1%	-51,020	-3%	
総医師数	3,556	4,216	4,620	1,064	30%	660	19%	404	10%	
人口10万対	177.5	208.3	234.1	56.7	32%	30.8	17%	25.9	12%	
医療施設勤務医師数	3,413	4,026	4,430	1,017	30%	613	18%	404	10%	
人口10万対	170.3	198.9	224.5	54.2	32%	28.6	17%	25.6	13%	
男性医師数	3,023	3,384	3,571	548	18%	361	12%	187	6%	
人口10万対	150.9	167.2	181.0	30.1	20%	16.3	11%	13.8	8%	
女性医師数	390	642	859	469	120%	252	65%	217	34%	
人口10万対	19.5	31.7	43.5	24.1	124%	12.3	63%	11.8	37%	
病院勤務医師数	2,017	2,396	2,767	750	37%	379	19%	371	15%	
人口10万対	100.7	118.4	140.2	39.6	39%	17.7	18%	21.9	18%	
診療所勤務医師数	1,396	1,630	1,663	267	19%	234	17%	33	2%	
人口10万対	69.7	80.5	84.3	14.6	21%	10.9	16%	3.8	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.2	49.3	51.3	3.1	7%	1.1	2%	2.0	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	745	814	729	-16	-2%	69	9%	-85	-10%
	35-49歳	1,369	1,452	1,451	82	6%	83	6%	-1	0%
	50-64歳	667	1,093	1,421	754	113%	426	64%	328	30%
	65歳以上	632	667	829	197	31%	35	6%	162	24%
	75歳以上(再掲)	156	335	309	153	98%	179	115%	-26	-8%
男性	24-34歳	621	557	494	-127	-20%	-64	-10%	-63	-11%
	35-49歳	1,238	1,253	1,070	-168	-14%	15	1%	-183	-15%
	50-64歳	597	969	1,274	677	113%	372	62%	305	31%
	65歳以上	567	605	733	166	29%	38	7%	128	21%
	75歳以上(再掲)	139	297	282	143	103%	158	114%	-15	-5%
女性	24-34歳	124	257	235	111	90%	133	107%	-22	-9%
	35-49歳	131	199	381	250	191%	68	52%	182	91%
	50-64歳	70	124	147	77	110%	54	77%	23	19%
	65歳以上	65	62	96	31	48%	-3	-5%	34	55%
	75歳以上(再掲)	17	38	27	10	59%	21	124%	-11	-29%
病院	24-34歳	706	780	715	9	1%	74	10%	-65	-8%
	35-49歳	931	1,005	1,108	177	19%	74	8%	103	10%
	50-64歳	277	473	708	431	156%	196	71%	235	50%
	65歳以上	103	138	236	133	129%	35	34%	98	71%
	75歳以上(再掲)	16	44	68	52	325%	28	175%	24	55%
診療所	24-34歳	39	34	14	-25	-64%	-5	-13%	-20	-59%
	35-49歳	438	447	343	-95	-22%	9	2%	-104	-23%
	50-64歳	390	620	713	323	83%	230	59%	93	15%
	65歳以上	529	529	593	64	12%	0	0%	64	12%
	75歳以上(再掲)	140	291	241	101	72%	151	108%	-50	-17%
	85歳以上(再掲)	17	37	72	55	324%	20	118%	35	95%

群馬県

＜医師数の推移＞

群馬県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、形成外科、耳鼻咽喉科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	3,413	170.3	48	4,026	198.9	49	4,430	224.5	48	1,017	30%	54.2	32%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,409	70.3	49	1,522	75.2	49	1,654	83.8	48	245	17%	13.5	19%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	244	12.2	53	260	12.8	53	293	14.8	53	49	20%	2.7	22%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	148	7.4	48	190	9.4	49	232	11.8	49	84	57%	4.4	59%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	414	20.7	50	419	20.7	54	385	19.5	51	-29	-7%	-1.2	-6%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	10	0.5	51	9	0.4	49	10	0.5	48	0	0%	0.0	2%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	26	1.3	48	33	1.6	48	44	2.2	49	18	69%	0.9	72%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	86	4.3	49	91	4.5	48	95	4.8	46	9	10%	0.5	12%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	260	13.0	50	311	15.4	51	331	16.8	50	71	27%	3.8	29%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	15	0.7	47	9	0.4	42	23	1.2	44	8	53%	0.4	56%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	92	4.6	48	111	5.5	48	118	6.0	47	26	28%	1.4	30%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	132	6.6	45	164	8.1	46	175	8.9	46	43	33%	2.3	35%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	110	5.5	46	113	5.6	46	111	5.6	45	1	1%	0.1	2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	93	4.6	52	106	5.2	52	114	5.8	51	21	23%	1.1	24%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	201	10.0	50	199	9.8	52	188	9.5	48	-13	-6%	-0.5	-5%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	10	0.5	47	22	1.1	47	37	1.9	49	27	270%	1.4	276%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	54	2.7	48	67	3.3	48	101	5.1	50	47	87%	2.4	90%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	71	3.5	49	114	5.6	52	150	7.6	51	79	111%	4.1	115%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				14	0.7	45	50	2.5	50	36	257%	1.8	266%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				197	9.7	48	178	9.0	46	178	-10%	-0.7	-7%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	38	1.9	44	75	3.7	47	141	7.1	50	103	271%	5.2	277%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

群馬県

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は262,157人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は808人(18%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は306人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

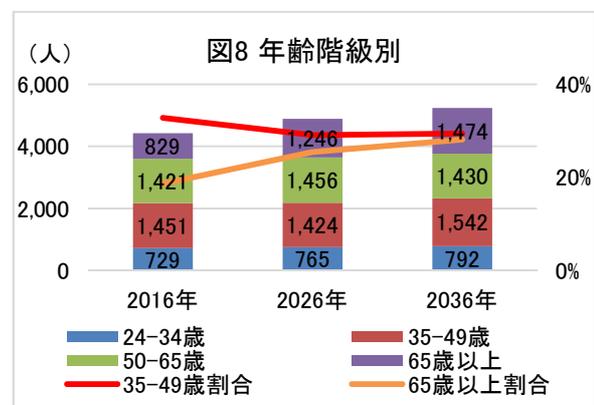
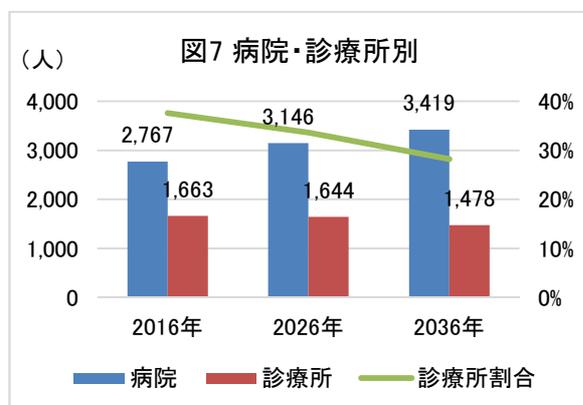
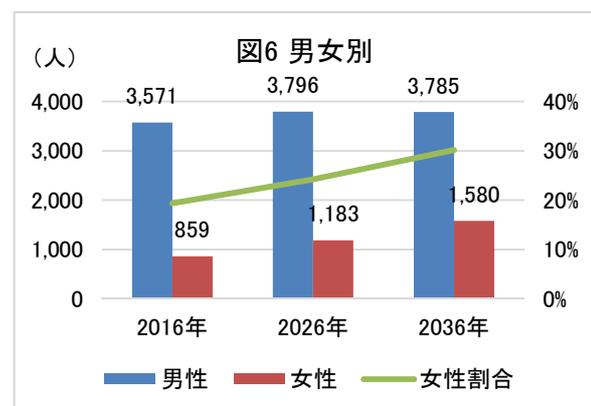
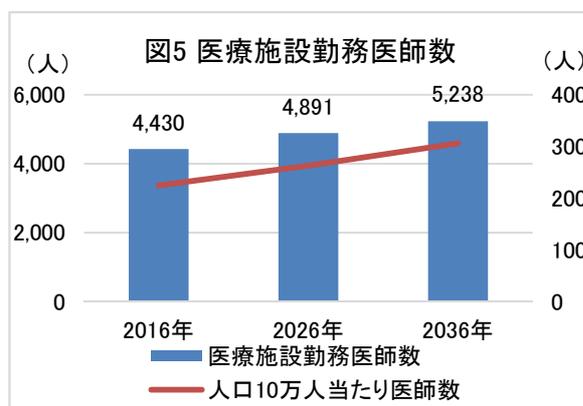
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて214人(6%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に721人(84%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて652人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に185人(-11%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は28%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は91人(6%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて645人(78%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



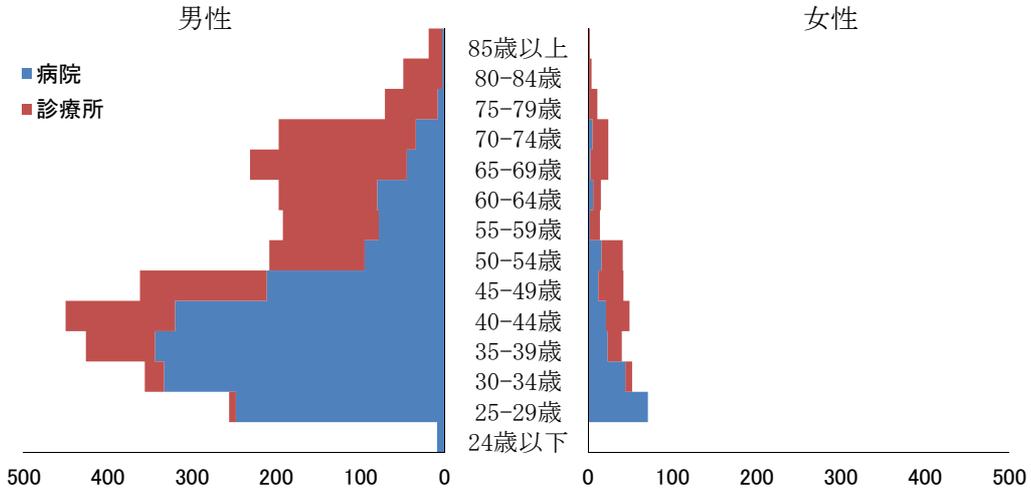
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

群馬県

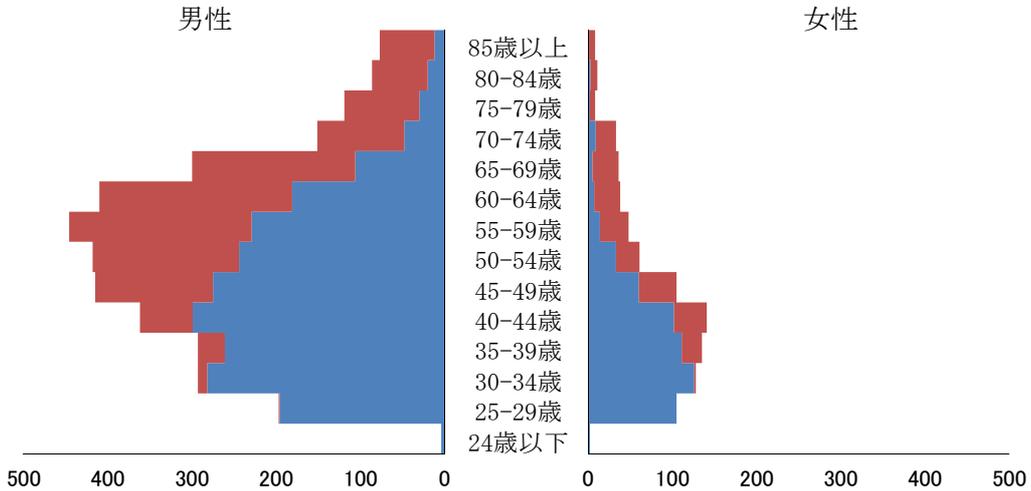
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

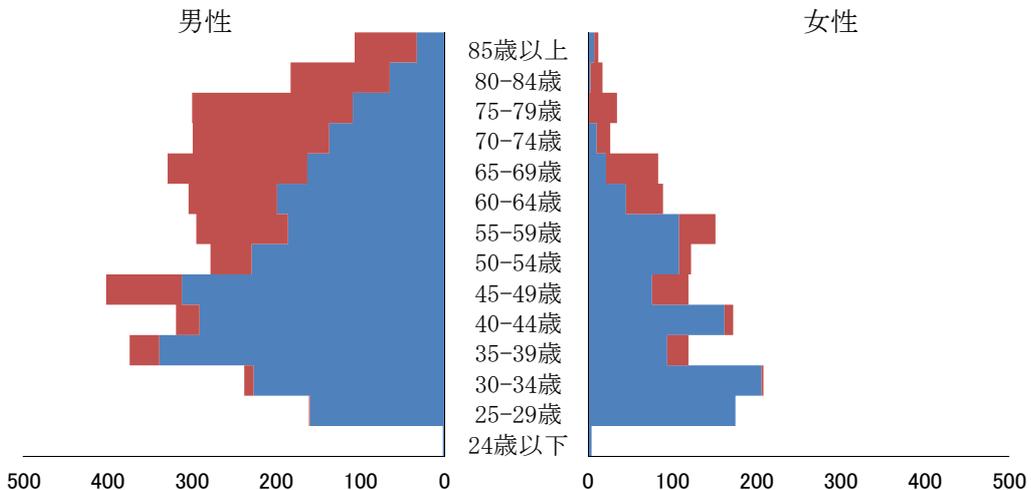
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

群馬県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,973,115	1,857,908	1,710,958	-262,157	-13%	-115,207	-6%	-146,950	-8%	
医療施設勤務医師数	4,430	4,891	5,238	808	18%	461	10%	347	7%	
人口10万対	224.5	263.3	306.1	81.6	36%	38.7	17%	42.9	16%	
男性医師数	3,571	3,796	3,785	214	6%	225	6%	-11	0%	
人口10万対	181.0	204.3	221.2	40.2	22%	23.3	13%	16.9	8%	
女性医師数	859	1,183	1,580	721	84%	324	38%	397	34%	
人口10万対	43.5	63.7	92.3	48.8	112%	20.1	46%	28.7	45%	
病院勤務医師数	2,767	3,146	3,419	652	24%	379	14%	273	9%	
人口10万対	140.2	169.3	199.8	59.6	42%	29.1	21%	30.5	18%	
診療所勤務医師数	1,663	1,644	1,478	-185	-11%	-19	-1%	-166	-10%	
人口10万対	84.3	88.5	86.4	2.1	2%	4.2	5%	-2.1	-2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	729	765	792	63	9%	36	5%	27	4%
	35-49歳	1,451	1,424	1,542	91	6%	-27	-2%	118	8%
	50-64歳	1,421	1,456	1,430	9	1%	35	2%	-26	-2%
	65歳以上	829	1,246	1,474	645	78%	417	50%	228	18%
	75歳以上(再掲)	309	452	676	367	119%	143	46%	224	50%
男性	24-34歳	494	520	401	-93	-19%	26	5%	-119	-23%
	35-49歳	1,070	1,001	1,145	75	7%	-69	-6%	144	14%
	50-64歳	1,274	1,164	982	-292	-23%	-110	-9%	-182	-16%
	65歳以上	733	1,111	1,257	524	71%	378	52%	146	13%
	75歳以上(再掲)	282	398	595	313	111%	116	41%	197	49%
女性	24-34歳	235	247	386	151	64%	12	5%	139	56%
	35-49歳	381	491	465	84	22%	110	29%	-26	-5%
	50-64歳	147	302	522	375	255%	155	105%	220	73%
	65歳以上	96	143	207	111	116%	47	49%	64	45%
	75歳以上(再掲)	27	65	84	57	211%	38	141%	19	29%
病院	24-34歳	715	751	777	62	9%	36	5%	26	3%
	35-49歳	1,108	1,115	1,183	75	7%	7	1%	68	6%
	50-64歳	708	848	885	177	25%	140	20%	37	4%
	65歳以上	236	432	574	338	143%	196	83%	142	33%
	75歳以上(再掲)	68	137	222	154	226%	69	101%	85	62%
診療所	24-34歳	14	14	14	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	343	238	242	-101	-29%	-105	-31%	4	2%
	50-64歳	713	572	384	-329	-46%	-141	-20%	-188	-33%
	65歳以上	593	820	838	245	41%	227	38%	18	2%
	75歳以上(再掲)	241	330	442	201	83%	89	37%	112	34%
	85歳以上(再掲)	72	62	81	9	13%	-10	-14%	19	31%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

前橋医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は2,691人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は439人(42%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は442人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は43%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

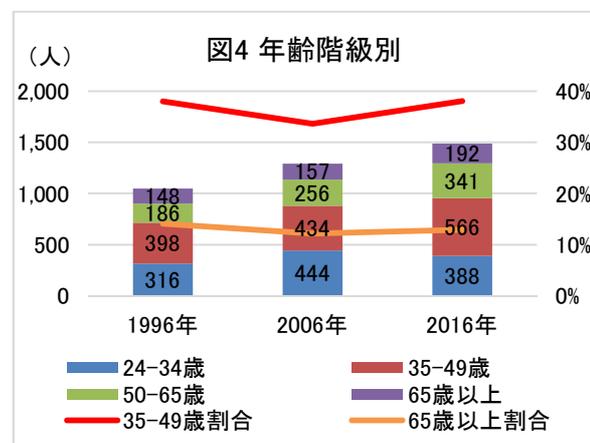
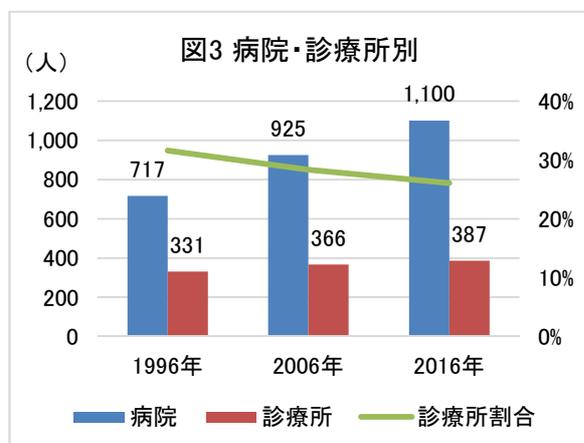
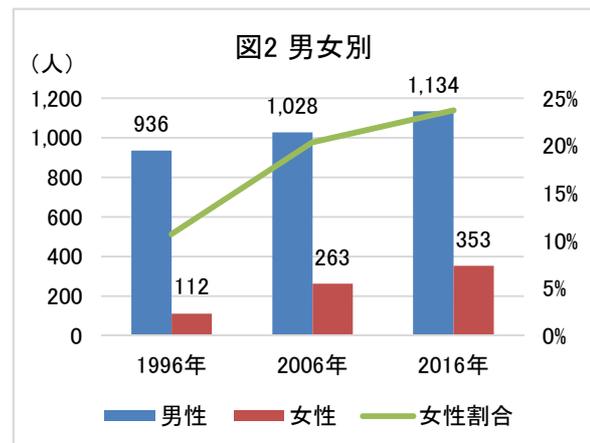
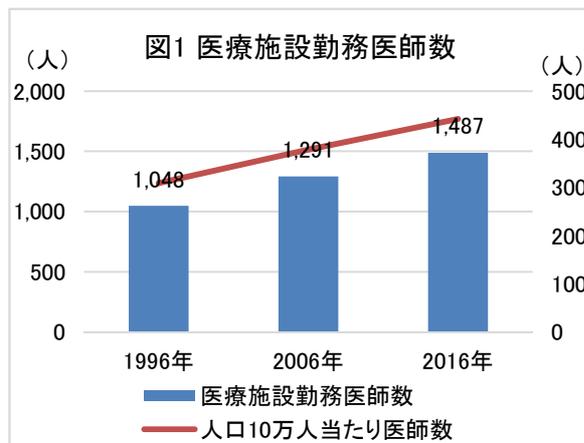
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて198人(21%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に241人(215%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は24%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて383人(53%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に56人(17%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は26%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は168人(42%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて44人(30%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年13%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

前橋医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	338,845	340,904	336,154	-2,691	-1%	2,059	1%	-4,750	-1%	
総医師数	1,141	1,397	1,581	440	39%	256	22%	184	13%	
人口10万対	336.7	409.8	470.3	133.6	40%	73.1	22%	60.5	15%	
医療施設勤務医師数	1,048	1,291	1,487	439	42%	243	23%	196	15%	
人口10万対	309.3	378.7	442.4	133.1	43%	69.4	22%	63.7	17%	
男性医師数	936	1,028	1,134	198	21%	92	10%	106	10%	
人口10万対	276.2	301.6	337.3	61.1	22%	25.3	9%	35.8	12%	
女性医師数	112	263	353	241	215%	151	135%	90	34%	
人口10万対	33.1	77.1	105.0	72.0	218%	44.1	133%	27.9	36%	
病院勤務医師数	717	925	1,100	383	53%	208	29%	175	19%	
人口10万対	211.6	271.3	327.2	115.6	55%	59.7	28%	55.9	21%	
診療所勤務医師数	331	366	387	56	17%	35	11%	21	6%	
人口10万対	97.7	107.4	115.1	17.4	18%	9.7	10%	7.8	7%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.2	44.9	46.6	1.4	3%	-0.3	-1%	1.7	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	316	444	388	72	23%	128	41%	-56	-13%
	35-49歳	398	434	566	168	42%	36	9%	132	30%
	50-64歳	186	256	341	155	83%	70	38%	85	33%
	65歳以上	148	157	192	44	30%	9	6%	35	22%
	75歳以上(再掲)	33	81	72	39	118%	48	145%	-9	-11%
男性	24-34歳	275	285	248	-27	-10%	10	4%	-37	-13%
	35-49歳	368	382	414	46	13%	14	4%	32	8%
	50-64歳	162	218	308	146	90%	56	35%	90	41%
	65歳以上	131	143	164	33	25%	12	9%	21	15%
	75歳以上(再掲)	28	72	66	38	136%	44	157%	-6	-8%
女性	24-34歳	41	159	140	99	241%	118	288%	-19	-12%
	35-49歳	30	52	152	122	407%	22	73%	100	192%
	50-64歳	24	38	33	9	38%	14	58%	-5	-13%
	65歳以上	17	14	28	11	65%	-3	-18%	14	100%
	75歳以上(再掲)	5	9	6	1	20%	4	80%	-3	-33%
病院	24-34歳	309	440	384	75	24%	131	42%	-56	-13%
	35-49歳	312	350	490	178	57%	38	12%	140	40%
	50-64歳	77	119	186	109	142%	42	55%	67	56%
	65歳以上	19	16	40	21	111%	-3	-16%	24	150%
	75歳以上(再掲)	1	6	8	7	700%	5	500%	2	33%
診療所	24-34歳	7	4	4	-3	-43%	-3	-43%	0	0%
	35-49歳	86	84	76	-10	-12%	-2	-2%	-8	-10%
	50-64歳	109	137	155	46	42%	28	26%	18	13%
	65歳以上	129	141	152	23	18%	12	9%	11	8%
	75歳以上(再掲)	32	75	64	32	100%	43	134%	-11	-15%
	85歳以上(再掲)	4	8	19	15	375%	4	100%	11	138%

前橋医療圏

＜医師数の推移＞

前橋医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、脳神経外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,048	309.3	65	1,291	378.7	71	1,487	442.4	73	439	42%	133.1	43%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	386	113.9	62	395	115.9	63	503	149.6	69	117	30%	35.7	31%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	73	21.5	73	77	22.6	75	97	28.9	79	24	33%	7.3	34%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	44	13.0	62	60	17.6	67	63	18.7	62	19	43%	5.8	44%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	127	37.5	68	134	39.3	80	127	37.8	76	0	0%	0.3	1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	3	0.9	56	3	0.9	54	3		0.9	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	14	4.1	67	9	2.6	54	17	5.1	65	3	21%	0.9	22%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	34	10.0	72	31	9.1	68	30	8.9	62	-4	-12%	-1.1	-11%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	76	22.4	69	91	26.7	75	110	32.7	80	34	45%	10.3	46%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	4	1.2	51	3	0.9	46	11	3.3	58	7	175%	2.1	177%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	33	9.7	62	36	10.6	64	40	11.9	63	7	21%	2.2	22%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	51	15.1	63	60	17.6	69	60	17.8	68	9	18%	2.8	19%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	34	10.0	59	42	12.3	67	38	11.3	63	4	12%	1.3	13%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	28	8.3	68	26	7.6	62	34	10.1	68	6	21%	1.9	22%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	63	18.6	70	62	18.2	73	62	18.4	68	-1	-2%	-0.1	-1%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	0.9	52	6	1.8	53	14	4.2	64	11	367%	3.3	370%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	26	7.7	64	37	10.9	73	58	17.3	83	32	123%	9.6	125%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	37	10.9	71	49	14.4	78	66	19.6	78	29	78%	8.7	80%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				14	4.1	71	32	9.5	83	18	129%	5.4	132%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				120	35.2	78	78	23.2	61	78	-35%	-12.0	-34%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	15	4.4	50	36	10.6	61	44	13.1	60	29	193%	8.7	196%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

前橋医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は42,357人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は342人(23%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は623人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

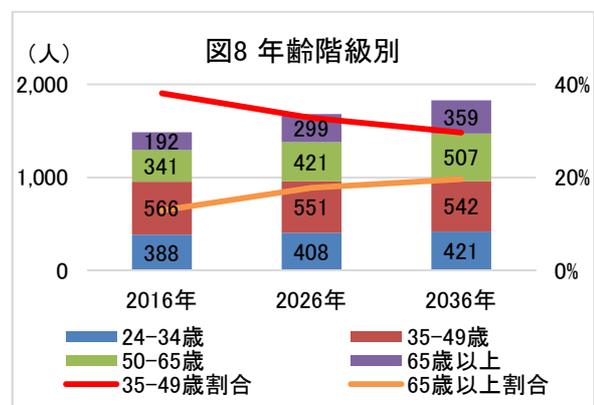
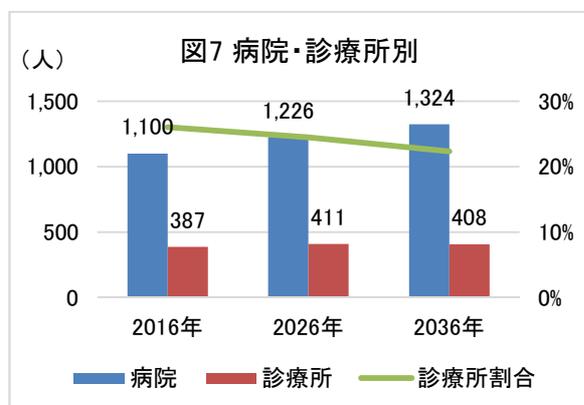
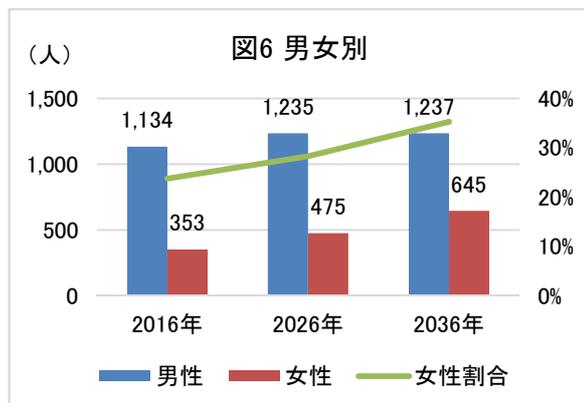
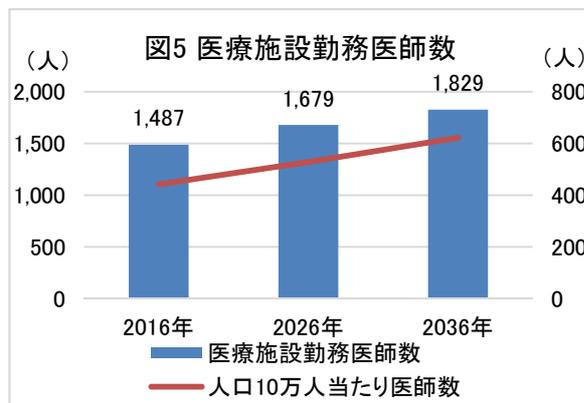
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて103人(9%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に292人(83%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は35%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて224人(20%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に21人(5%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は22%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は24人(-4%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて167人(87%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年13%、2036年20%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



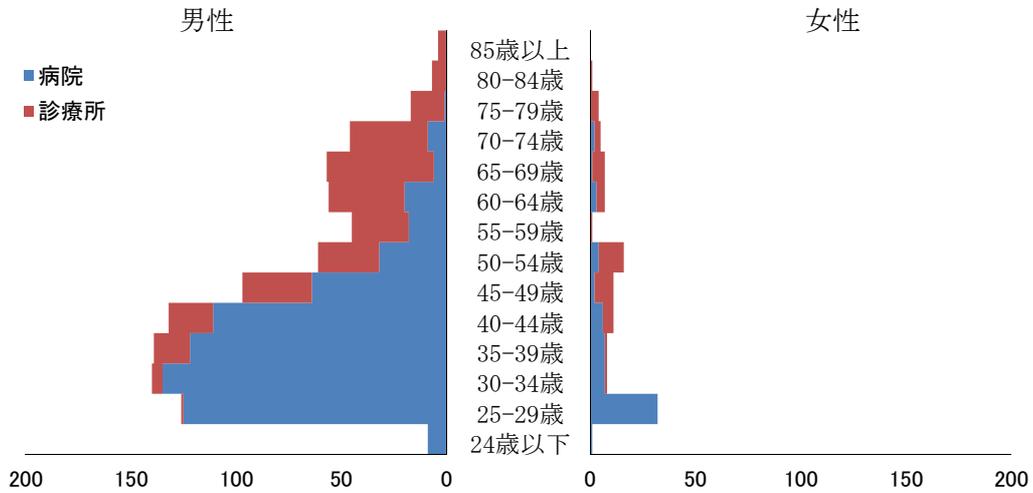
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

前橋医療圏

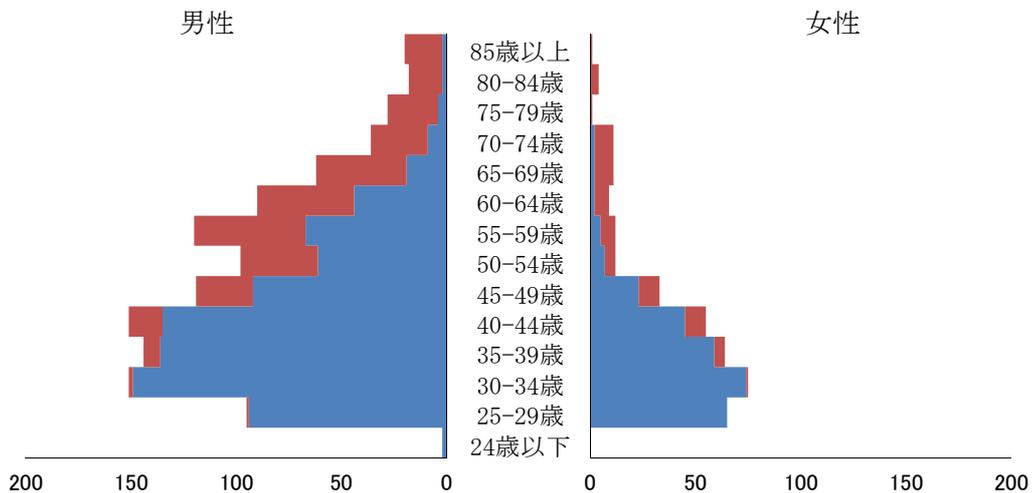
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

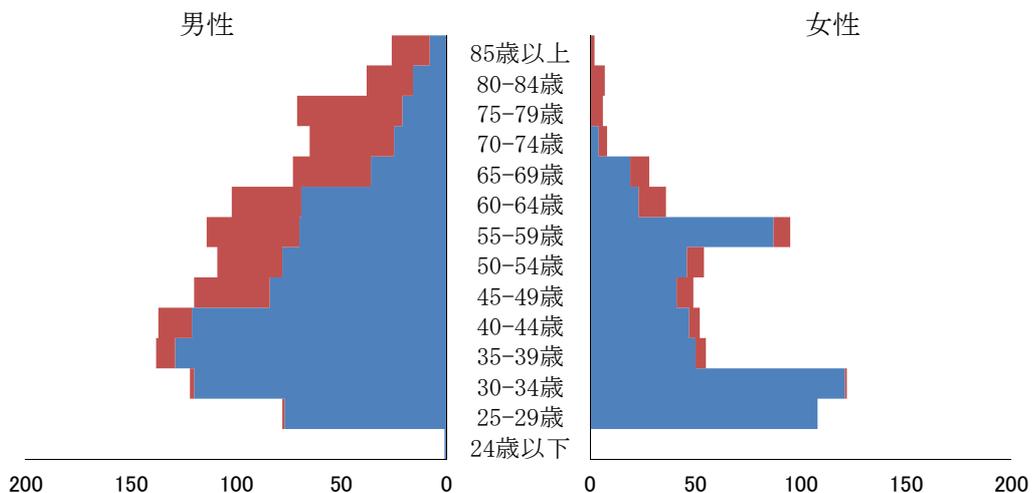
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

前橋医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	336,154	317,897	293,797	-42,357	-13%	-18,257	-5%	-24,100	-8%	
医療施設勤務医師数	1,487	1,679	1,829	342	23%	192	13%	150	9%	
人口10万対	442.4	528.2	622.5	180.2	41%	85.8	19%	94.4	18%	
男性医師数	1,134	1,235	1,237	103	9%	101	9%	2	0%	
人口10万対	337.3	388.5	421.0	83.7	25%	51.1	15%	32.5	8%	
女性医師数	353	475	645	292	83%	122	35%	170	36%	
人口10万対	105.0	149.4	219.5	114.5	109%	44.4	42%	70.1	47%	
病院勤務医師数	1,100	1,226	1,324	224	20%	126	11%	98	8%	
人口10万対	327.2	385.7	450.7	123.4	38%	58.4	18%	65.0	17%	
診療所勤務医師数	387	411	408	21	5%	24	6%	-3	-1%	
人口10万対	115.1	129.3	138.9	23.7	21%	14.2	12%	9.6	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	388	408	421	33	9%	20	5%	13	3%
	35-49歳	566	551	542	-24	-4%	-15	-3%	-9	-2%
	50-64歳	341	421	507	166	49%	80	23%	86	20%
	65歳以上	192	299	359	167	87%	107	56%	60	20%
	75歳以上(再掲)	72	104	162	90	125%	32	44%	58	56%
男性	24-34歳	248	261	201	-47	-19%	13	5%	-60	-23%
	35-49歳	414	386	385	-29	-7%	-28	-7%	-1	0%
	50-64歳	308	327	349	41	13%	19	6%	22	7%
	65歳以上	164	261	302	138	84%	97	59%	41	16%
	75歳以上(再掲)	66	86	141	75	114%	20	30%	55	64%
女性	24-34歳	140	148	229	89	64%	8	6%	81	55%
	35-49歳	152	172	164	12	8%	20	13%	-8	-5%
	50-64歳	33	114	192	159	482%	81	245%	78	68%
	65歳以上	28	41	60	32	114%	13	46%	19	46%
	75歳以上(再掲)	6	23	21	15	250%	17	283%	-2	-9%
病院	24-34歳	384	404	417	33	9%	20	5%	13	3%
	35-49歳	490	472	467	-23	-5%	-18	-4%	-5	-1%
	50-64歳	186	262	316	130	70%	76	41%	54	21%
	65歳以上	40	88	124	84	210%	48	120%	36	41%
	75歳以上(再掲)	8	22	47	39	488%	14	175%	25	114%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	76	73	74	-2	-3%	-3	-4%	1	1%
	50-64歳	155	137	136	-19	-12%	-18	-12%	-1	-1%
	65歳以上	152	197	194	42	28%	45	30%	-3	-2%
	75歳以上(再掲)	64	80	104	40	63%	16	25%	24	30%
	85歳以上(再掲)	19	16	20	1	5%	-3	-16%	4	25%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

高崎・安中医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は10,683人(3%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は243人(39%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は200人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

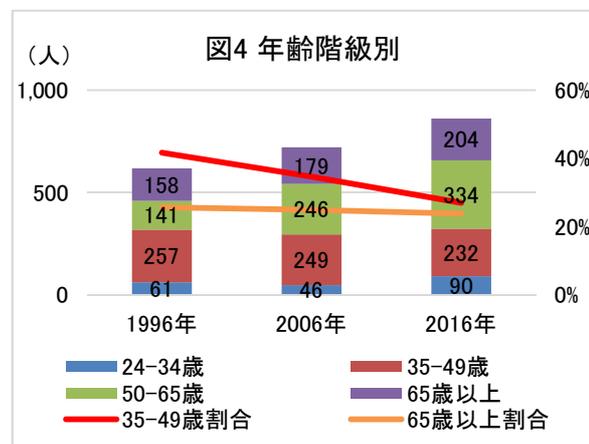
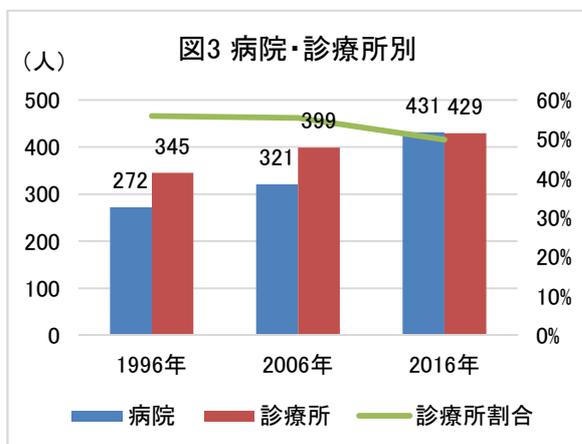
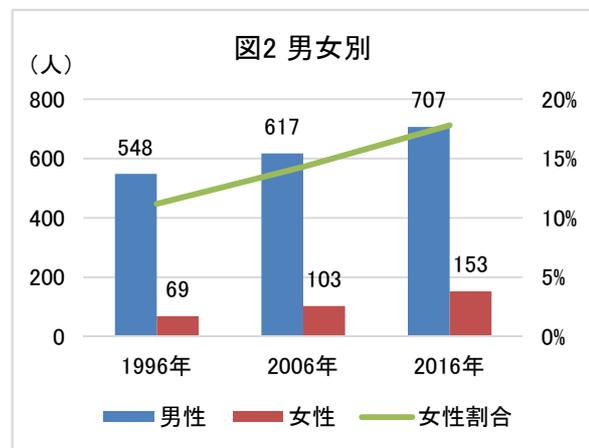
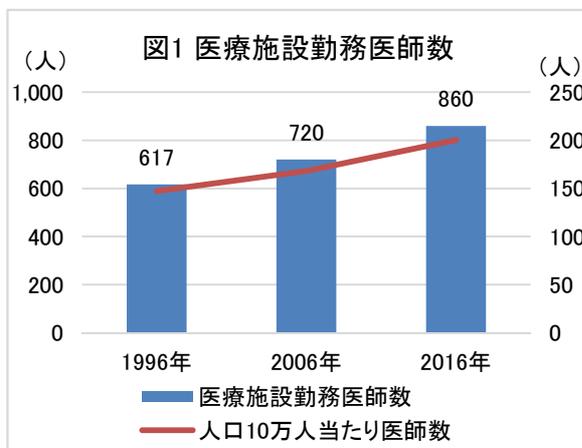
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて159人(29%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に84人(122%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて159人(58%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に84人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は50%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は25人(-10%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて46人(29%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年26%、2016年24%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

高崎・安中医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	418,732	428,098	429,415	10,683	3%	9,366	2%	1,317	0%	
総医師数	627	751	887	260	41%	124	20%	136	18%	
人口10万対	149.7	175.4	206.6	56.8	38%	25.7	17%	31.1	18%	
医療施設勤務医師数	617	720	860	243	39%	103	17%	140	19%	
人口10万対	147.3	168.2	200.3	52.9	36%	20.8	14%	32.1	19%	
男性医師数	548	617	707	159	29%	69	13%	90	15%	
人口10万対	130.9	144.1	164.6	33.8	26%	13.3	10%	20.5	14%	
女性医師数	69	103	153	84	122%	34	49%	50	49%	
人口10万対	16.5	24.1	35.6	19.2	116%	7.6	46%	11.6	48%	
病院勤務医師数	272	321	431	159	58%	49	18%	110	34%	
人口10万対	65.0	75.0	100.4	35.4	55%	10.0	15%	25.4	34%	
診療所勤務医師数	345	399	429	84	24%	54	16%	30	8%	
人口10万対	82.4	93.2	99.9	17.5	21%	10.8	13%	6.7	7%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.4	54.7	55.0	2.6	5%	2.3	4%	0.2	0%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	61	46	90	29	48%	-15	-25%	44	96%
	35-49歳	257	249	232	-25	-10%	-8	-3%	-17	-7%
	50-64歳	141	246	334	193	137%	105	74%	88	36%
	65歳以上	158	179	204	46	29%	21	13%	25	14%
	75歳以上(再掲)	39	82	90	51	131%	43	110%	8	10%
男性	24-34歳	51	33	63	12	24%	-18	-35%	30	91%
	35-49歳	228	205	169	-59	-26%	-23	-10%	-36	-18%
	50-64歳	125	218	291	166	133%	93	74%	73	33%
	65歳以上	144	161	184	40	28%	17	12%	23	14%
	75歳以上(再掲)	37	71	80	43	116%	34	92%	9	13%
女性	24-34歳	10	13	27	17	170%	3	30%	14	108%
	35-49歳	29	44	63	34	117%	15	52%	19	43%
	50-64歳	16	28	43	27	169%	12	75%	15	54%
	65歳以上	14	18	20	6	43%	4	29%	2	11%
	75歳以上(再掲)	2	11	10	8	400%	9	450%	-1	-9%
病院	24-34歳	52	39	88	36	69%	-13	-25%	49	126%
	35-49歳	144	134	130	-14	-10%	-10	-7%	-4	-3%
	50-64歳	49	101	148	99	202%	52	106%	47	47%
	65歳以上	27	47	65	38	141%	20	74%	18	38%
	75歳以上(再掲)	3	13	25	22	733%	10	333%	12	92%
診療所	24-34歳	9	7	2	-7	-78%	-2	-22%	-5	-71%
	35-49歳	113	115	102	-11	-10%	2	2%	-13	-11%
	50-64歳	92	145	186	94	102%	53	58%	41	28%
	65歳以上	131	132	139	8	6%	1	1%	7	5%
	75歳以上(再掲)	36	69	65	29	81%	33	92%	-4	-6%
	85歳以上(再掲)	5	8	19	14	280%	3	60%	11	138%

高崎・安中医療圏

＜医師数の推移＞

高崎・安中医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	617	147.3	46	720	168.2	45	860	200.3	46	243	39%	52.9	36%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	271	64.7	47	293	68.4	47	334	77.8	46	63	23%	13.1	20%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	44	10.5	49	48	11.2	49	54	12.6	49	10	23%	2.1	20%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	22	5.3	43	32	7.5	45	51	11.9	49	29	132%	6.6	126%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	78	18.6	48	82	19.2	51	75	17.5	48	-3	-4%	-1.2	-6%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	5	1.2	47	12	2.8	55	7	1.6	45	2	40%	0.4	37%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	15	3.6	46	18	4.2	47	23	5.4	48	8	53%	1.8	50%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	49	11.7	47	60	14.0	48	65	15.1	47	16	33%	3.4	29%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	0.7	47	0	0.0	39	3	0.7	41	0	0%	-0.0	-2%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	19	4.5	47	22	5.1	47	21	4.9	44	2	11%	0.4	8%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	24	5.7	44	26	6.1	41	41	9.5	48	17	71%	3.8	67%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	21	5.0	44	24	5.6	46	24	5.6	45	3	14%	0.6	11%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	14	3.3	47	21	4.9	50	25	5.8	51	11	79%	2.5	74%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	36	8.6	47	44	10.3	53	42	9.8	49	6	17%	1.2	14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.5	47	3	0.7	44	6	1.4	46	4	200%	0.9	193%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	0.7	41	4	0.9	40	10	2.3	42	7	233%	1.6	225%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	8	1.9	44	15	3.5	46	18	4.2	43	10	125%	2.3	119%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	4	0.9	42	4		0.9	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				8	1.9	39	34	7.9	44	34	325%	6.0	324%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	0.7	42	8	1.9	44	23	5.4	46	20	667%	4.6	648%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

高崎・安中医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は40,857人(-10%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は495人(58%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は349人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は74%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

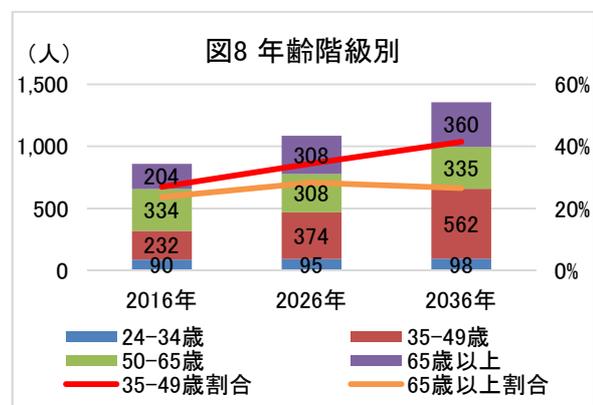
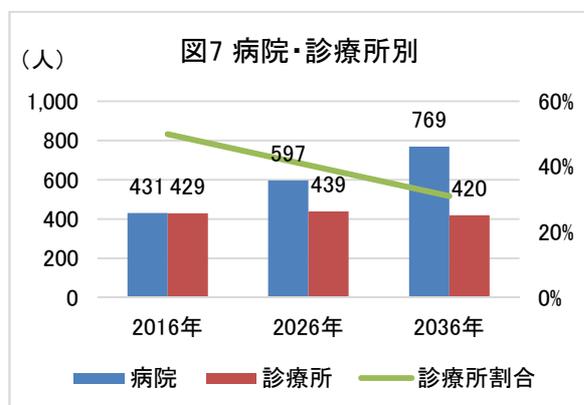
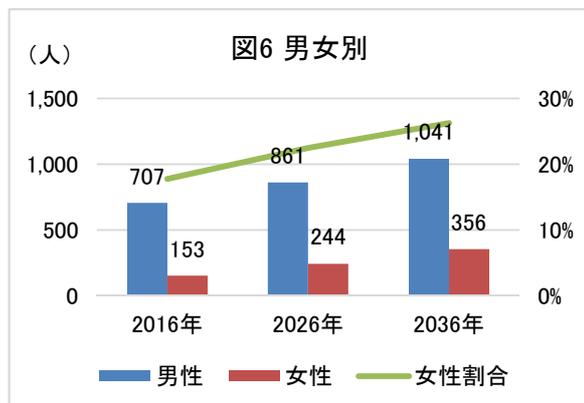
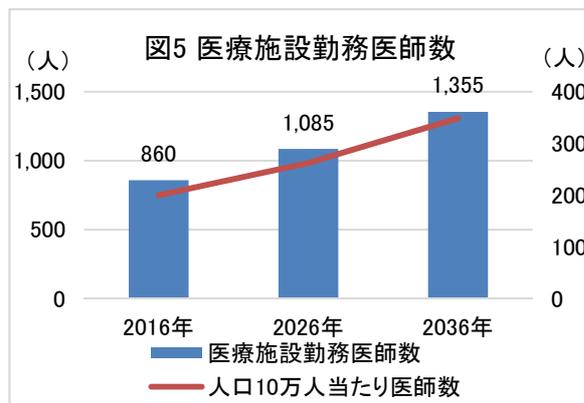
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて334人(47%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に203人(133%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は26%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて338人(78%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(-2%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は31%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は330人(142%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて156人(76%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年24%、2036年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



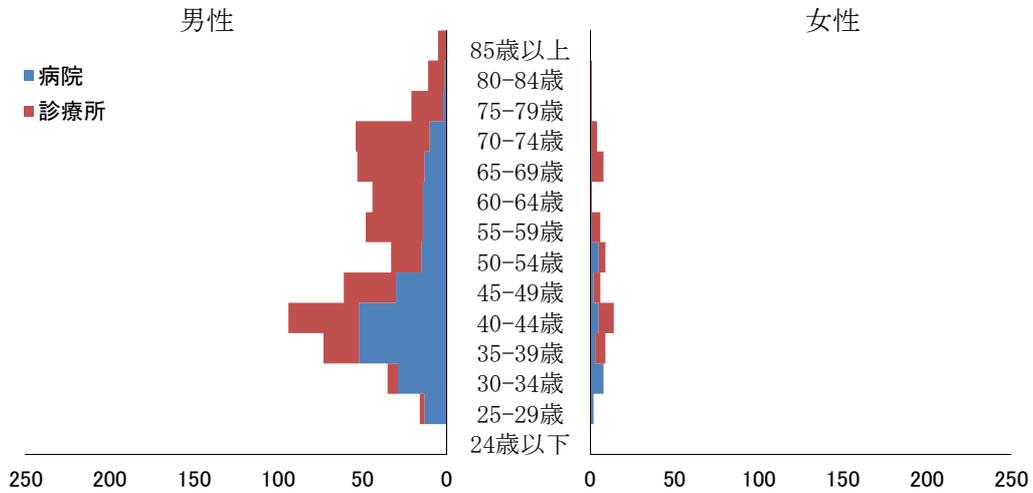
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

高崎・安中医療圏

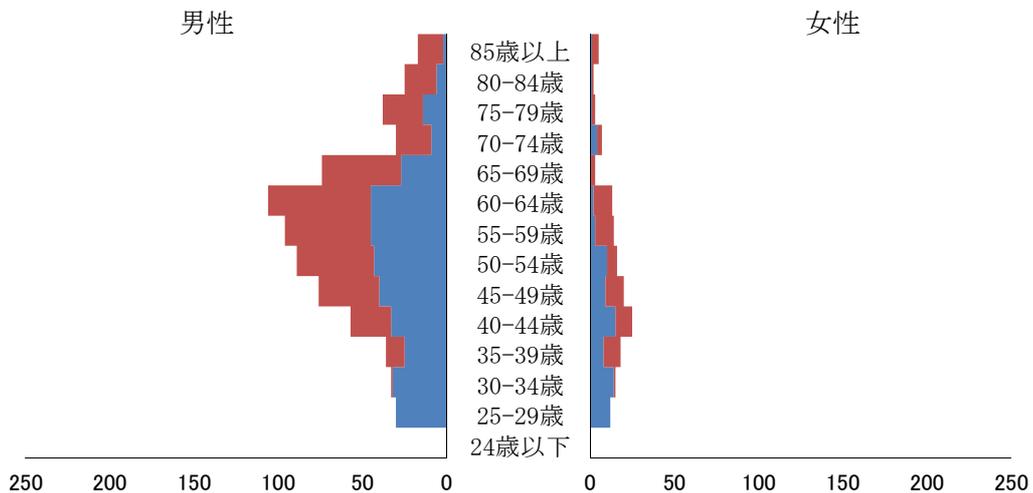
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

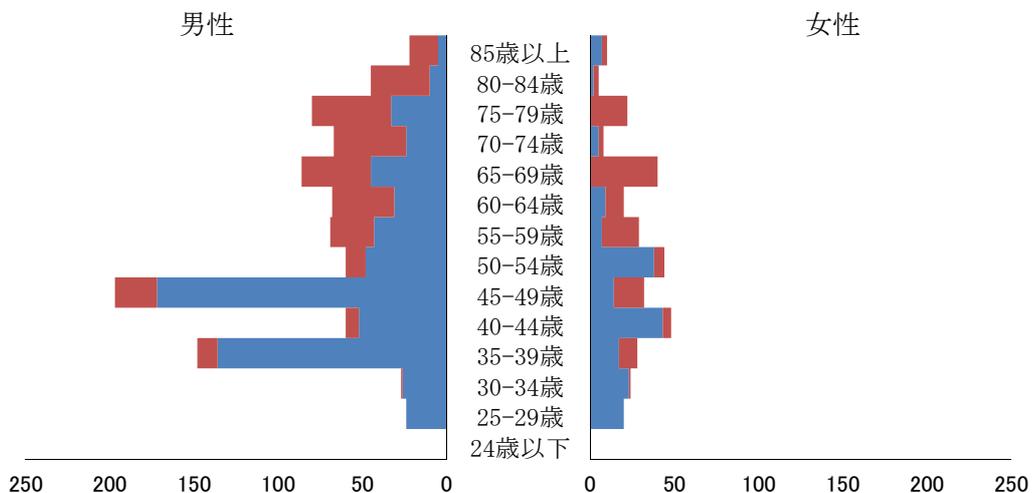
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

高崎・安中医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	429,415	413,783	388,558	-40,857	-10%	-15,632	-4%	-25,225	-6%	
医療施設勤務医師数	860	1,085	1,355	495	58%	225	26%	270	25%	
人口10万対	200.3	262.2	348.7	148.5	74%	61.9	31%	86.5	33%	
男性医師数	707	861	1,041	334	47%	154	22%	180	21%	
人口10万対	164.6	208.1	267.9	103.3	63%	43.4	26%	59.8	29%	
女性医師数	153	244	356	203	133%	91	59%	112	46%	
人口10万対	35.6	59.0	91.6	56.0	157%	23.3	66%	32.7	55%	
病院勤務医師数	431	597	769	338	78%	166	39%	172	29%	
人口10万対	100.4	144.3	197.9	97.5	97%	43.9	44%	53.6	37%	
診療所勤務医師数	429	439	420	-9	-2%	10	2%	-19	-4%	
人口10万対	99.9	106.1	108.1	8.2	8%	6.2	6%	2.0	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	90	95	98	8	9%	5	6%	3	3%
	35-49歳	232	374	562	330	142%	142	61%	188	50%
	50-64歳	334	308	335	1	0%	-26	-8%	27	9%
	65歳以上	204	308	360	156	76%	104	51%	52	17%
	75歳以上(再掲)	90	109	172	82	91%	19	21%	63	58%
男性	24-34歳	63	67	52	-11	-17%	4	6%	-15	-22%
	35-49歳	169	274	455	286	169%	105	62%	181	66%
	50-64歳	291	244	228	-63	-22%	-47	-16%	-16	-7%
	65歳以上	184	276	306	122	66%	92	50%	30	11%
	75歳以上(再掲)	80	98	150	70	88%	18	23%	52	53%
女性	24-34歳	27	28	44	17	63%	1	4%	16	57%
	35-49歳	63	113	139	76	121%	50	79%	26	23%
	50-64歳	43	62	102	59	137%	19	44%	40	65%
	65歳以上	20	41	71	51	255%	21	105%	30	73%
	75歳以上(再掲)	10	12	27	17	170%	2	20%	15	125%
病院	24-34歳	88	93	96	8	9%	5	6%	3	3%
	35-49歳	130	242	358	228	175%	112	86%	116	48%
	50-64歳	148	156	175	27	18%	8	5%	19	12%
	65歳以上	65	106	140	75	115%	41	63%	34	32%
	75歳以上(再掲)	25	35	56	31	124%	10	40%	21	60%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	102	80	82	-20	-20%	-22	-22%	2	2%
	50-64歳	186	153	119	-67	-36%	-33	-18%	-34	-22%
	65歳以上	139	204	217	78	56%	65	47%	13	6%
	75歳以上(再掲)	65	75	116	51	78%	10	15%	41	55%
	85歳以上(再掲)	19	18	21	2	11%	-1	-5%	3	17%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

渋川医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は5,084人(-4%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は56人(32%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は203人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は38%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

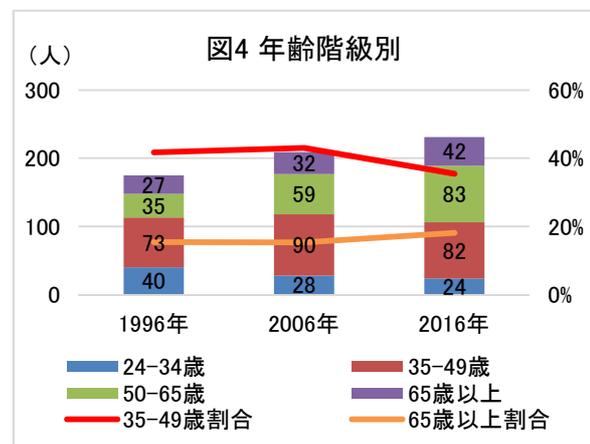
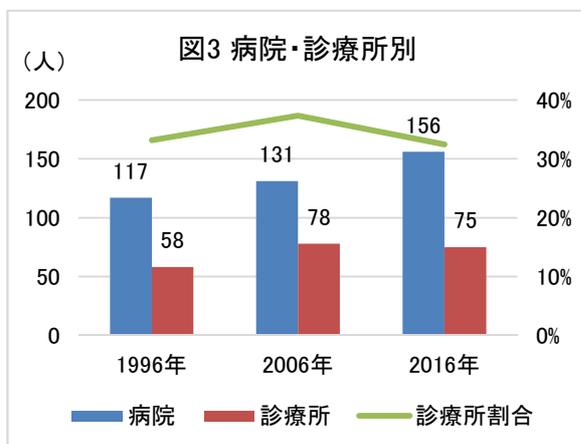
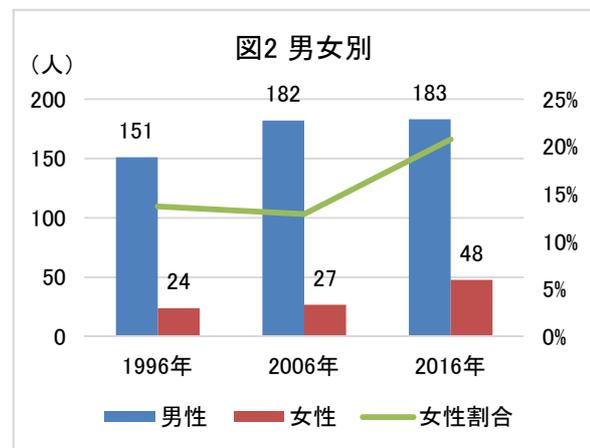
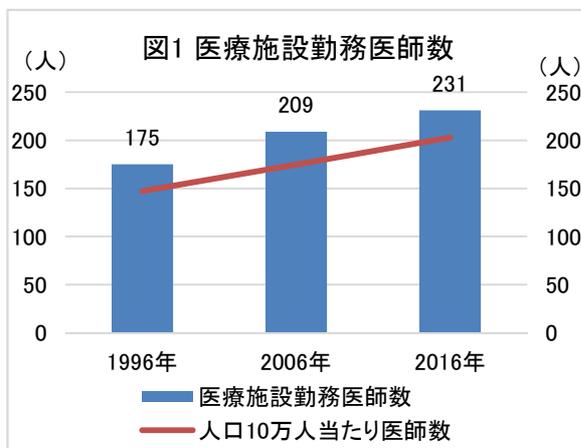
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて32人(21%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に24人(100%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて39人(33%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に17人(29%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は9人(12%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて15人(56%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年15%、2016年18%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

渋川医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	118,884	119,687	113,800	-5,084	-4%	803	1%	-5,887	-5%	
総医師数	182	218	237	55	30%	36	20%	19	9%	
人口10万対	153.1	182.1	208.3	55.2	36%	29.1	19%	26.1	14%	
医療施設勤務医師数	175	209	231	56	32%	34	19%	22	11%	
人口10万対	147.2	174.6	203.0	55.8	38%	27.4	19%	28.4	16%	
男性医師数	151	182	183	32	21%	31	21%	1	1%	
人口10万対	127.0	152.1	160.8	33.8	27%	25.0	20%	8.7	6%	
女性医師数	24	27	48	24	100%	3	13%	21	78%	
人口10万対	20.2	22.6	42.2	22.0	109%	2.4	12%	19.6	87%	
病院勤務医師数	117	131	156	39	33%	14	12%	25	19%	
人口10万対	98.4	109.5	137.1	38.7	39%	11.0	11%	27.6	25%	
診療所勤務医師数	58	78	75	17	29%	20	34%	-3	-4%	
人口10万対	48.8	65.2	65.9	17.1	35%	16.4	34%	0.7	1%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.8	50.2	53.0	6.2	13%	3.4	7%	2.8	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	40	28	24	-16	-40%	-12	-30%	-4	-14%
	35-49歳	73	90	82	9	12%	17	23%	-8	-9%
	50-64歳	35	59	83	48	137%	24	69%	24	41%
	65歳以上	27	32	42	15	56%	5	19%	10	31%
	75歳以上(再掲)	5	18	16	11	220%	13	260%	-2	-11%
男性	24-34歳	33	23	15	-18	-55%	-10	-30%	-8	-35%
	35-49歳	63	78	61	-2	-3%	15	24%	-17	-22%
	50-64歳	31	52	75	44	142%	21	68%	23	44%
	65歳以上	24	29	32	8	33%	5	21%	3	10%
	75歳以上(再掲)	4	17	12	8	200%	13	325%	-5	-29%
女性	24-34歳	7	5	9	2	29%	-2	-29%	4	80%
	35-49歳	10	12	21	11	110%	2	20%	9	75%
	50-64歳	4	7	8	4	100%	3	75%	1	14%
	65歳以上	3	3	10	7	233%	0	0%	7	233%
	75歳以上(再掲)	1	1	4	3	300%	0	0%	3	300%
病院	24-34歳	39	28	24	-15	-38%	-11	-28%	-4	-14%
	35-49歳	51	58	71	20	39%	7	14%	13	22%
	50-64歳	19	34	42	23	121%	15	79%	8	24%
	65歳以上	8	11	19	11	138%	3	38%	8	73%
	75歳以上(再掲)	1	6	6	5	500%	5	500%	0	0%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	22	32	11	-11	-50%	10	45%	-21	-66%
	50-64歳	16	25	41	25	156%	9	56%	16	64%
	65歳以上	19	21	23	4	21%	2	11%	2	10%
	75歳以上(再掲)	4	12	10	6	150%	8	200%	-2	-17%
	85歳以上(再掲)	0	2	3	3		2		1	50%

渋川医療圏

＜医師数の推移＞

渋川医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科であり、少ない診療科は、内科(総数)、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	175	147.2	46	209	174.6	46	231	203.0	46	56	32%	55.8	38%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	70	58.9	45	85	71.0	47	77	67.7	43	7	10%	8.8	15%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	18	15.1	59	26	21.7	73	33	29.0	79	15	83%	13.9	92%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	22	18.5	76	22	18.4	69	29	25.5	74	7	32%	7.0	38%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	27	22.7	52	23	19.2	51	15	13.2	42	-12	-44%	-9.5	-42%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	5	4.2	109	4	3.3	99	5	4.4	107	0	0%	0.2	4%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	1.7	50	3	2.5	53	7	6.2	71	5	250%	4.5	266%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	1	0.8	33	2	1.8	35	2		1.8	
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	3	2.5	29	6	5.0	30	11	9.7	37	8	267%	7.1	283%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.8	48	2	1.7	51	2	1.8	48	1	100%	0.9	109%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	3	2.5	42	2	1.7	36	7	6.2	47	4	133%	3.6	144%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	4.2	40	6	5.0	39	7	6.2	40	2	40%	1.9	46%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	2.5	37	3	2.5	36	4	3.5	38	1	33%	1.0	39%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	0.8	36	3	2.5	40	5	4.4	45	4	400%	3.6	422%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	5.0	39	9	7.5	46	8	7.0	43	2	33%	2.0	39%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	1	0.9	43	1		0.9	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	5	4.2	53	3	2.5	46	3	2.6	43	-2	-40%	-1.6	-37%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.7	43	7	5.8	53	6	5.3	46	4	200%	3.6	213%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	1.7	39	0	0.0	36	0	-100%	-1.7	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	1.7	44	2	1.7	43	9	7.9	51	7	350%	6.2	370%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

渋川医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は17,106人(-15%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は2人(1%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は241人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は19%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

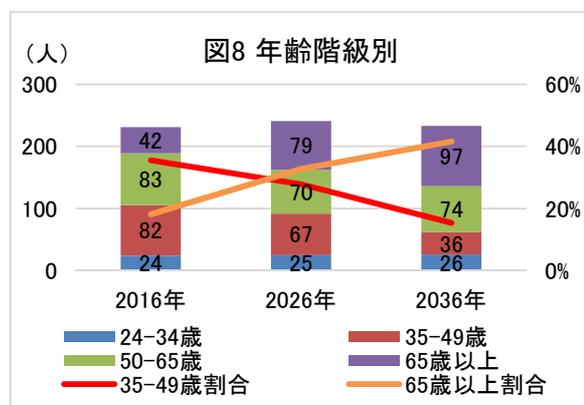
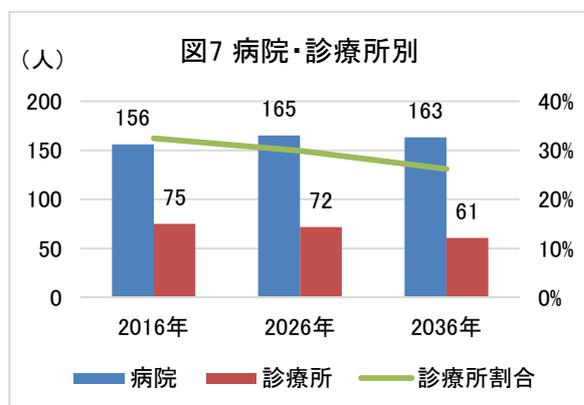
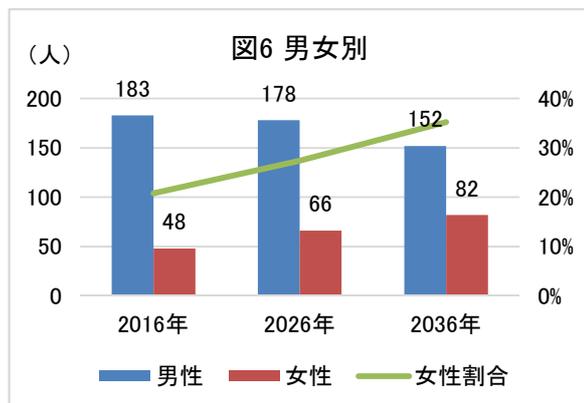
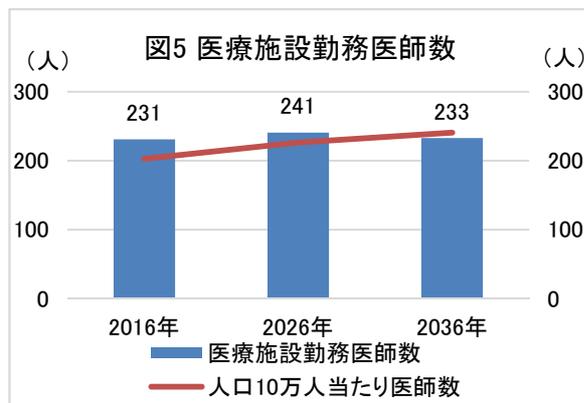
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて31人(-17%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に34人(71%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は35%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて7人(4%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に14人(-19%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は46人(-56%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて55人(131%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年42%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



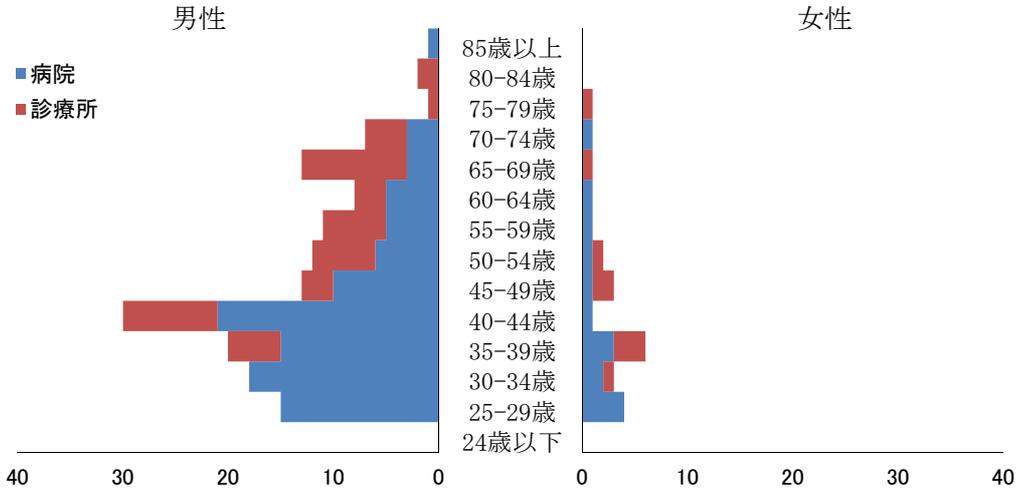
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

渋川医療圏

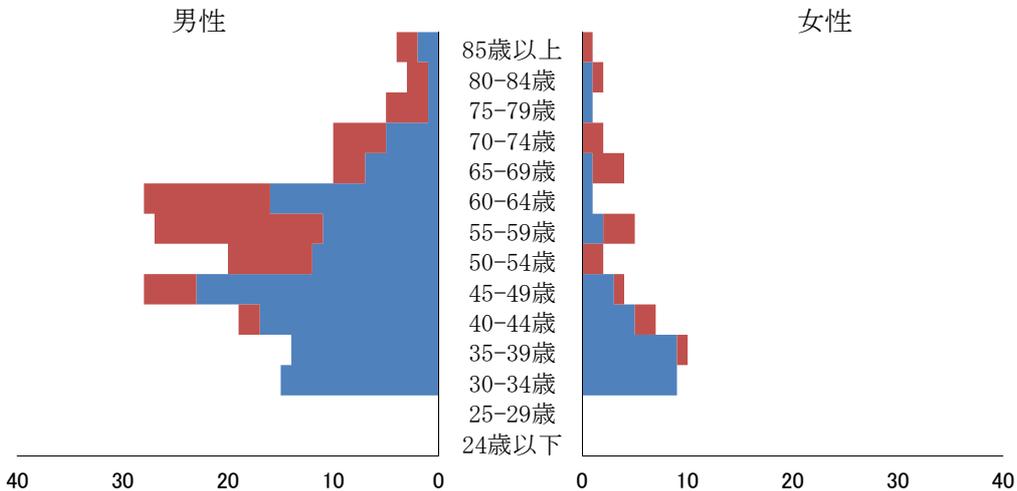
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

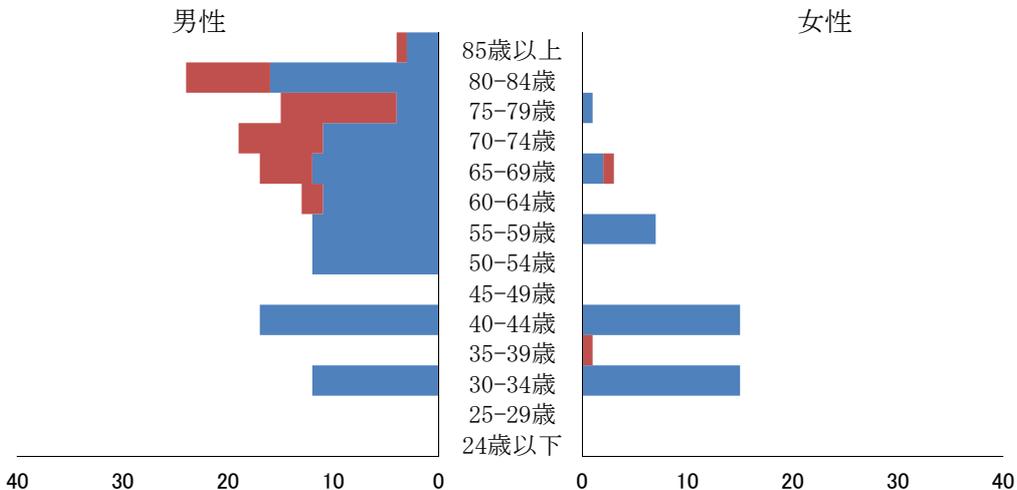
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

渋川医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	113,800	106,385	96,694	-17,106	-15%	-7,415	-7%	-9,691	-9%	
医療施設勤務医師数	231	241	233	2	1%	10	4%	-8	-3%	
人口10万対	203.0	226.5	241.0	38.0	19%	23.5	12%	14.4	6%	
男性医師数	183	178	152	-31	-17%	-5	-3%	-26	-15%	
人口10万対	160.8	167.3	157.2	-3.6	-2%	6.5	4%	-10.1	-6%	
女性医師数	48	66	82	34	71%	18	38%	16	24%	
人口10万対	42.2	62.0	84.8	42.6	101%	19.9	47%	22.8	37%	
病院勤務医師数	156	165	163	7	4%	9	6%	-2	-1%	
人口10万対	137.1	155.1	168.6	31.5	23%	18.0	13%	13.5	9%	
診療所勤務医師数	75	72	61	-14	-19%	-3	-4%	-11	-15%	
人口10万対	65.9	67.7	63.1	-2.8	-4%	1.8	3%	-4.6	-7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	24	25	26	2	8%	1	4%	1	4%
	35-49歳	82	67	36	-46	-56%	-15	-18%	-31	-46%
	50-64歳	83	70	74	-9	-11%	-13	-16%	4	6%
	65歳以上	42	79	97	55	131%	37	88%	18	23%
	75歳以上(再掲)	16	25	53	37	231%	9	56%	28	112%
男性	24-34歳	15	15	12	-3	-20%	0	0%	-3	-20%
	35-49歳	61	39	19	-42	-69%	-22	-36%	-20	-51%
	50-64歳	75	58	46	-29	-39%	-17	-23%	-12	-21%
	65歳以上	32	66	75	43	134%	34	106%	9	14%
	75歳以上(再掲)	12	17	38	26	217%	5	42%	21	124%
女性	24-34歳	9	9	15	6	67%	0	0%	6	67%
	35-49歳	21	31	22	1	5%	10	48%	-9	-29%
	50-64歳	8	9	24	16	200%	1	13%	15	167%
	65歳以上	10	17	21	11	110%	7	70%	4	24%
	75歳以上(再掲)	4	12	18	14	350%	8	200%	6	50%
病院	24-34歳	24	25	26	2	8%	1	4%	1	4%
	35-49歳	71	55	30	-41	-58%	-16	-23%	-25	-45%
	50-64歳	42	47	55	13	31%	5	12%	8	17%
	65歳以上	19	38	52	33	174%	19	100%	14	37%
	75歳以上(再掲)	6	12	27	21	350%	6	100%	15	125%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	11	7	7	-4	-36%	-4	-36%	0	0%
	50-64歳	41	20	10	-31	-76%	-21	-51%	-10	-50%
	65歳以上	23	45	44	21	91%	22	96%	-1	-2%
	75歳以上(再掲)	10	14	28	18	180%	4	40%	14	100%
	85歳以上(再掲)	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

藤岡医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は6,866人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は37人(30%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は235人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は43%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

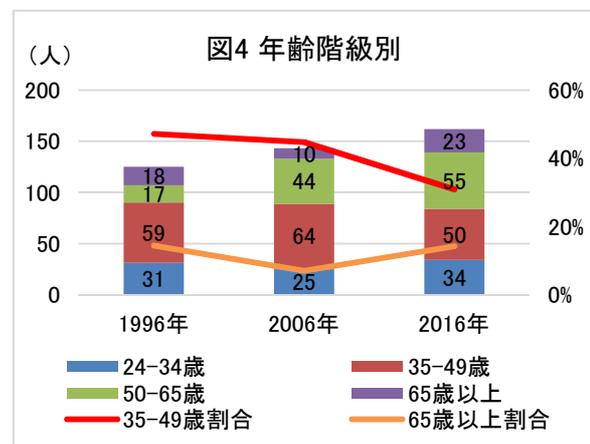
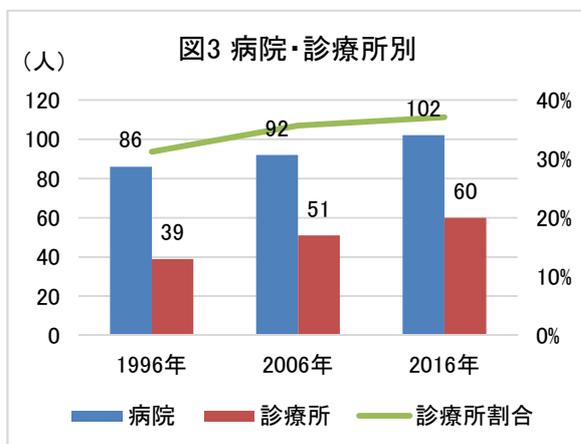
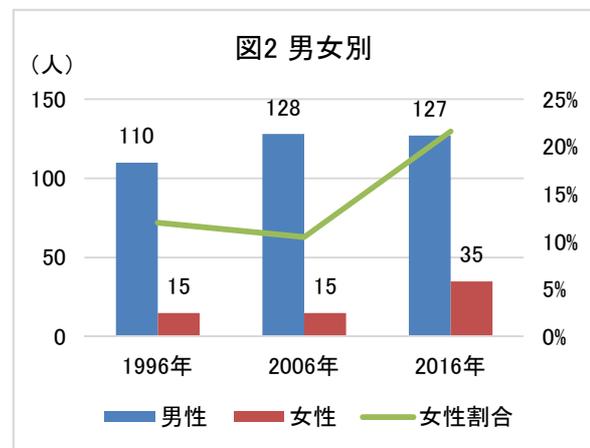
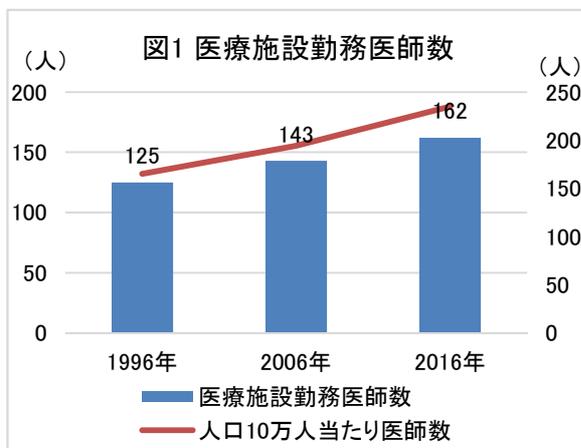
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて17人(15%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に20人(133%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は22%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて16人(19%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に21人(54%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は37%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は9人(-15%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて5人(28%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年14%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

藤岡医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	75,758	73,580	68,892	-6,866	-9%	-2,178	-3%	-4,688	-6%	
総医師数	128	146	166	38	30%	18	14%	20	14%	
人口10万対	169.0	198.4	241.0	72.0	43%	29.5	17%	42.5	21%	
医療施設勤務医師数	125	143	162	37	30%	18	14%	19	13%	
人口10万対	165.0	194.3	235.2	70.2	43%	29.3	18%	40.8	21%	
男性医師数	110	128	127	17	15%	18	16%	-1	-1%	
人口10万対	145.2	174.0	184.3	39.1	27%	28.8	20%	10.4	6%	
女性医師数	15	15	35	20	133%	0	0%	20	133%	
人口10万対	19.8	20.4	50.8	31.0	157%	0.6	3%	30.4	149%	
病院勤務医師数	86	92	102	16	19%	6	7%	10	11%	
人口10万対	113.5	125.0	148.1	34.5	30%	11.5	10%	23.0	18%	
診療所勤務医師数	39	51	60	21	54%	12	31%	9	18%	
人口10万対	51.5	69.3	87.1	35.6	69%	17.8	35%	17.8	26%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.4	47.3	49.0	3.6	8%	1.9	4%	1.7	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	31	25	34	3	10%	-6	-19%	9	36%
	35-49歳	59	64	50	-9	-15%	5	8%	-14	-22%
	50-64歳	17	44	55	38	224%	27	159%	11	25%
	65歳以上	18	10	23	5	28%	-8	-44%	13	130%
	75歳以上(再掲)	5	7	4	-1	-20%	2	40%	-3	-43%
男性	24-34歳	23	19	20	-3	-13%	-4	-17%	1	5%
	35-49歳	55	56	32	-23	-42%	1	2%	-24	-43%
	50-64歳	14	43	53	39	279%	29	207%	10	23%
	65歳以上	18	10	22	4	22%	-8	-44%	12	120%
	75歳以上(再掲)	5	7	4	-1	-20%	2	40%	-3	-43%
女性	24-34歳	8	6	14	6	75%	-2	-25%	8	133%
	35-49歳	4	8	18	14	350%	4	100%	10	125%
	50-64歳	3	1	2	-1	-33%	-2	-67%	1	100%
	65歳以上	0	0	1	1		0		1	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	28	22	32	4	14%	-6	-21%	10	45%
	35-49歳	51	46	36	-15	-29%	-5	-10%	-10	-22%
	50-64歳	7	23	26	19	271%	16	229%	3	13%
	65歳以上	0	1	8	8		1		7	700%
	75歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	
診療所	24-34歳	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
	35-49歳	8	18	14	6	75%	10	125%	-4	-22%
	50-64歳	10	21	29	19	190%	11	110%	8	38%
	65歳以上	18	9	15	-3	-17%	-9	-50%	6	67%
	75歳以上(再掲)	5	7	3	-2	-40%	2	40%	-4	-57%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

藤岡医療圏

＜医師数の推移＞

藤岡医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、臨床研修医であり、少ない診療科は、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、耳鼻咽喉科、泌尿器科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、放射線科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	125	165.0	48	143	194.3	49	162	235.2	49	37	30%	70.2	43%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	53	70.0	48	66	89.7	54	66	95.8	52	13	25%	25.8	37%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	9	11.9	52	8	10.9	49	9	13.1	50	0	0%	1.2	10%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	2.6	37	1	1.4	31	3	4.4	35	1	50%	1.7	65%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	22	29.0	59	19	25.8	61	18	26.1	60	-4	-18%	-2.9	-10%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	4.0	48	4	5.4	52	3	4.4	44	0	0%	0.4	10%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	12	15.8	56	15	20.4	62	13	18.9	54	1	8%	3.0	19%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	1	1.5	46	1	15%	1.5	15%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.6	42	2	2.7	39	2	2.9	38	0	0%	0.3	10%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	2.6	37	3	4.1	36	2	2.9	32	0	0%	0.3	10%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	5.3	45	3	4.1	41	3	4.4	41	-1	-25%	-0.9	-18%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	6.6	61	4	5.4	53	4	5.8	51	-1	-20%	-0.8	-12%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	6.6	42	6	8.2	47	7	10.2	50	2	40%	3.6	54%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	1	1.5	47	1	15%	1.5	15%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	1.3	43	1	1.4	42	4	5.8	52	3	300%	4.5	340%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	4.0	50	4	5.4	52	5	7.3	50	2	67%	3.3	83%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	1.5	45	1	15%	1.5	15%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				5	6.8	45	15	21.8	59	15	200%	15.0	220%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	2.6	46	2	2.7	45	5	7.3	50	3	150%	4.6	175%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

藤岡医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は11,918人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は55人(34%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は381人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は62%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

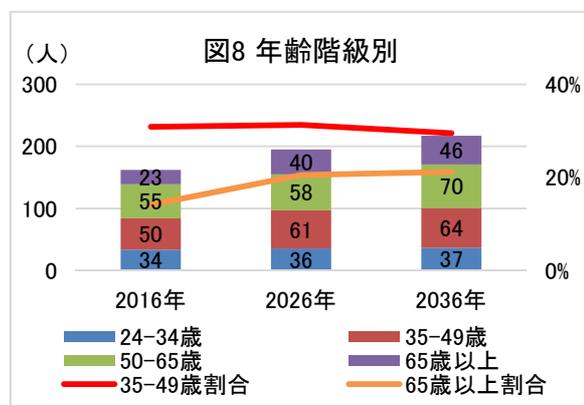
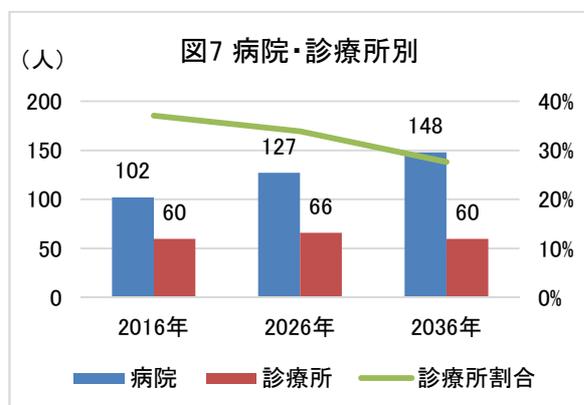
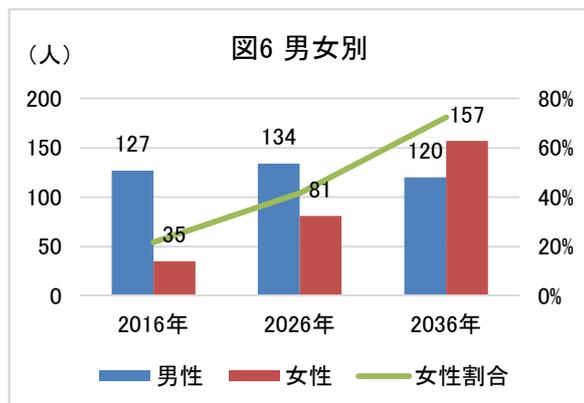
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて7人(-6%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に122人(349%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は72%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて46人(45%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に増減がなく、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は28%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は14人(28%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて23人(100%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年14%、2036年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



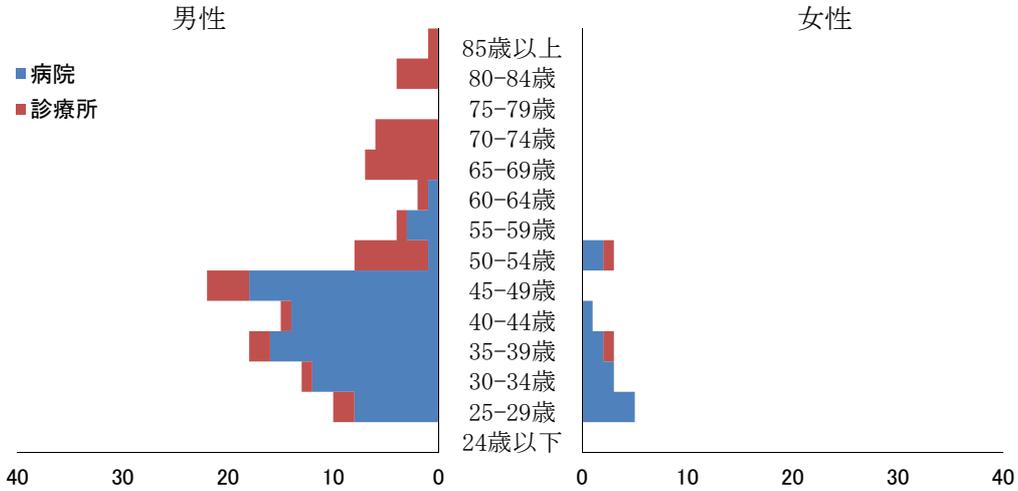
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

藤岡医療圏

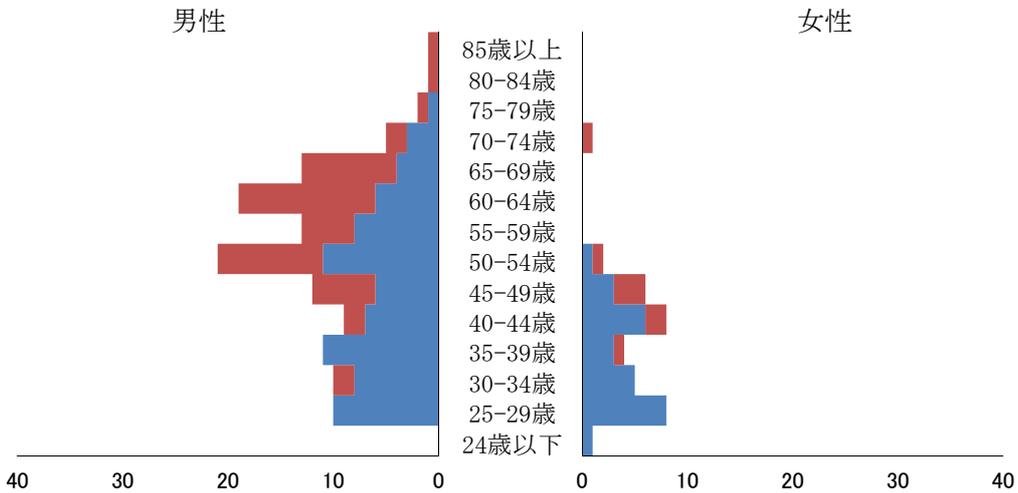
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

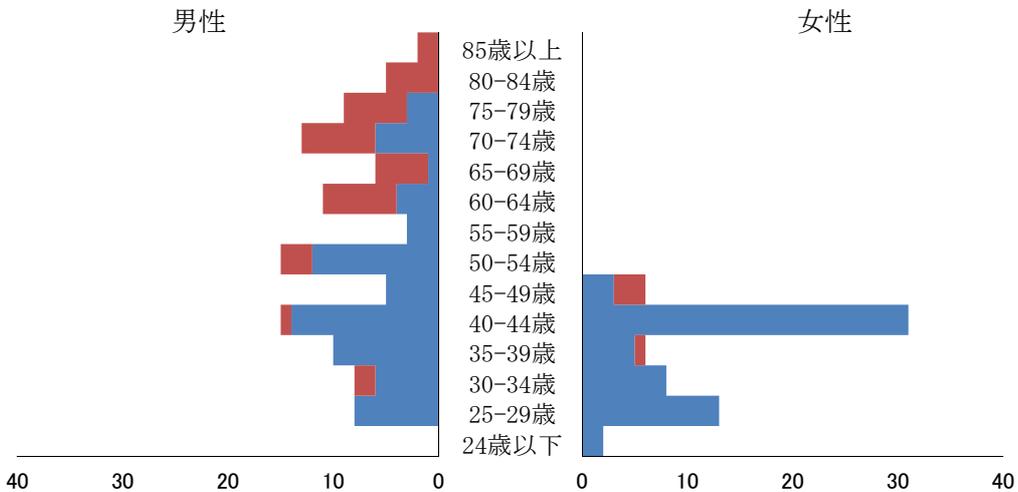
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

藤岡医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	68,892	63,687	56,974	-11,918	-17%	-5,205	-8%	-6,713	-11%	
医療施設勤務医師数	162	195	217	55	34%	33	20%	22	11%	
人口10万対	235.2	306.2	380.9	145.7	62%	71.0	30%	74.7	24%	
男性医師数	127	134	120	-7	-6%	7	6%	-14	-10%	
人口10万対	184.3	210.4	210.6	26.3	14%	26.1	14%	0.2	0%	
女性医師数	35	81	157	122	349%	46	131%	76	94%	
人口10万対	50.8	127.2	275.6	224.8	442%	76.4	150%	148.4	117%	
病院勤務医師数	102	127	148	46	45%	25	25%	21	17%	
人口10万対	148.1	199.4	259.8	111.7	75%	51.4	35%	60.4	30%	
診療所勤務医師数	60	66	60	0	0%	6	10%	-6	-9%	
人口10万対	87.1	103.6	105.3	18.2	21%	16.5	19%	1.7	2%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	34	36	37	3	9%	2	6%	1	3%
	35-49歳	50	61	64	14	28%	11	22%	3	5%
	50-64歳	55	58	70	15	27%	3	5%	12	21%
	65歳以上	23	40	46	23	100%	17	74%	6	15%
	75歳以上(再掲)	4	20	23	19	475%	16	400%	3	15%
男性	24-34歳	20	21	16	-4	-20%	1	5%	-5	-24%
	35-49歳	32	31	30	-2	-6%	-1	-3%	-1	-3%
	50-64歳	53	43	32	-21	-40%	-10	-19%	-11	-26%
	65歳以上	22	39	42	20	91%	17	77%	3	8%
	75歳以上(再掲)	4	19	23	19	475%	15	375%	4	21%
女性	24-34歳	14	15	23	9	64%	1	7%	8	53%
	35-49歳	18	50	54	36	200%	32	178%	4	8%
	50-64歳	2	16	80	78	3900%	14	700%	64	400%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	32	34	35	3	9%	2	6%	1	3%
	35-49歳	36	57	59	23	64%	21	58%	2	4%
	50-64歳	26	24	43	17	65%	-2	-8%	19	79%
	65歳以上	8	12	11	3	38%	4	50%	-1	-8%
	75歳以上(再掲)	1	4	3	2	200%	3	300%	-1	-25%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	14	6	6	-8	-57%	-8	-57%	0	0%
	50-64歳	29	33	20	-9	-31%	4	14%	-13	-39%
	65歳以上	15	25	32	17	113%	10	67%	7	28%
	75歳以上(再掲)	3	12	15	12	400%	9	300%	3	25%
	85歳以上(再掲)	1	0	2	1	100%	-1	-100%	2	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富岡医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は12,522人（-15%）減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は30人（23%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は221人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は44%増え、その伸び率は全国平均（31%）を上回る。

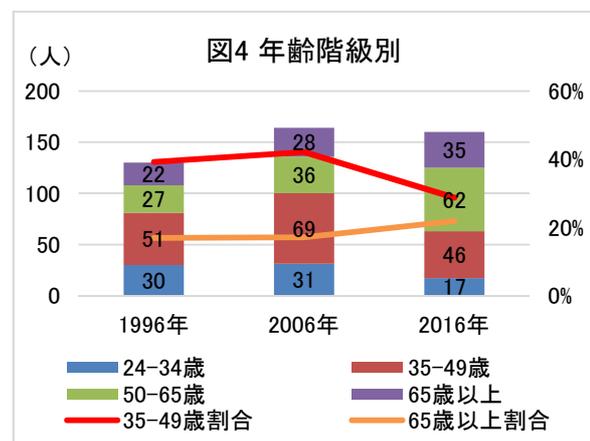
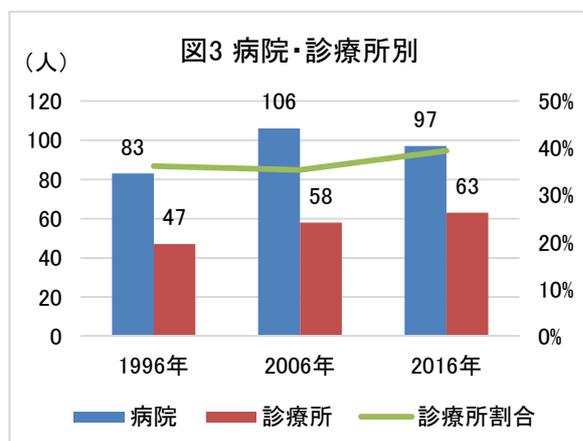
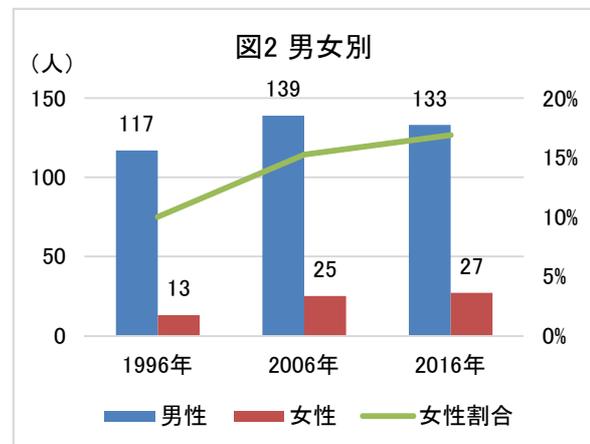
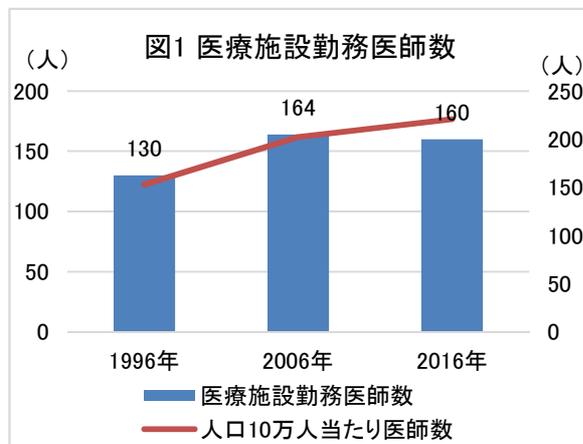
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて16人（14%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。女性医師は、同期間に14人（108%）増え、全国平均（111%）を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均（21%）を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて14人（17%）増え、全国平均（37%）を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に16人（34%）増え、全国平均（25%）を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は39%と、全国平均（34%）を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は5人（-10%）減り、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて13人（59%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

富岡医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	85,011	81,151	72,489	-12,522	-15%	-3,860	-5%	-8,662	-11%	
総医師数	134	169	166	32	24%	35	26%	-3	-2%	
人口10万対	157.6	208.3	229.0	71.4	45%	50.6	32%	20.7	10%	
医療施設勤務医師数	130	164	160	30	23%	34	26%	-4	-2%	
人口10万対	152.9	202.1	220.7	67.8	44%	49.2	32%	18.6	9%	
男性医師数	117	139	133	16	14%	22	19%	-6	-4%	
人口10万対	137.6	171.3	183.5	45.8	33%	33.7	24%	12.2	7%	
女性医師数	13	25	27	14	108%	12	92%	2	8%	
人口10万対	15.3	30.8	37.2	22.0	144%	15.5	101%	6.4	21%	
病院勤務医師数	83	106	97	14	17%	23	28%	-9	-8%	
人口10万対	97.6	130.6	133.8	36.2	37%	33.0	34%	3.2	2%	
診療所勤務医師数	47	58	63	16	34%	11	23%	5	9%	
人口10万対	55.3	71.5	86.9	31.6	57%	16.2	29%	15.4	22%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.5	48.9	54.4	7.0	15%	1.4	3%	5.6	11%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	30	31	17	-13	-43%	1	3%	-14	-45%
	35-49歳	51	69	46	-5	-10%	18	35%	-23	-33%
	50-64歳	27	36	62	35	130%	9	33%	26	72%
	65歳以上	22	28	35	13	59%	6	27%	7	25%
	75歳以上(再掲)	3	15	17	14	467%	12	400%	2	13%
男性	24-34歳	23	21	12	-11	-48%	-2	-9%	-9	-43%
	35-49歳	49	57	34	-15	-31%	8	16%	-23	-40%
	50-64歳	27	36	54	27	100%	9	33%	18	50%
	65歳以上	18	25	33	15	83%	7	39%	8	32%
	75歳以上(再掲)	3	12	16	13	433%	9	300%	4	33%
女性	24-34歳	7	10	5	-2	-29%	3	43%	-5	-50%
	35-49歳	2	12	12	10	500%	10	500%	0	0%
	50-64歳	0	0	8	8		0		8	
	65歳以上	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	75歳以上(再掲)	0	3	1	1		3		-2	-67%
病院	24-34歳	28	31	17	-11	-39%	3	11%	-14	-45%
	35-49歳	39	49	36	-3	-8%	10	26%	-13	-27%
	50-64歳	12	18	37	25	208%	6	50%	19	106%
	65歳以上	4	8	7	3	75%	4	100%	-1	-13%
	75歳以上(再掲)	1	3	2	1	100%	2	200%	-1	-33%
診療所	24-34歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	35-49歳	12	20	10	-2	-17%	8	67%	-10	-50%
	50-64歳	15	18	25	10	67%	3	20%	7	39%
	65歳以上	18	20	28	10	56%	2	11%	8	40%
	75歳以上(再掲)	2	12	15	13	650%	10	500%	3	25%
	85歳以上(再掲)	0	1	5	5		1		4	400%

富岡医療圏

＜医師数の推移＞

富岡医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、皮膚科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	130	152.9	46	164	202.1	49	160	220.7	48	30	23%	67.8	44%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	59	69.4	48	68	83.8	52	71	97.9	53	12	20%	28.5	41%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	8.2	44	6	7.4	41	6	8.3	41	-1	-14%	0.0	1%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	8.2	50	8	9.9	50	9	12.4	50	2	29%	4.2	51%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	11	12.9	41	14	17.3	49	8	11.0	39	-3	-27%	-1.9	-15%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	2.4	42	2	2.5	40	2	2.8	38	0	0%	0.4	17%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	15	17.6	59	13	16.0	53	9	12.4	42	-6	-40%	-5.2	-30%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.4	41	5	6.2	50	4	5.5	45	2	100%	3.2	135%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	5.9	44	6	7.4	44	3	4.1	35	-2	-40%	-1.7	-30%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	6	7.1	50	6	7.4	51	5	6.9	49	-1	-17%	-0.2	-2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	7	8.2	68	7	8.6	67	2	2.8	39	-5	-71%	-5.5	-66%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	7	8.2	46	9	11.1	55	8	11.0	51	1	14%	2.8	34%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.2	48	0	0.0	37	0	0	0.0	0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	1.2	43	1	1.2	41	1	1.4	40	0	0%	0.2	17%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	4	4.9	50	3	4.1	43	3	0	4.1	0
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				11	13.6	53	1	1.4	37	1	-91%	-12.2	-90%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.2	43	3	3.7	47	28	38.6	105	27	2700%	37.5	3184%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

富岡医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は16,094人(-22%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は9人(-6%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は268人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

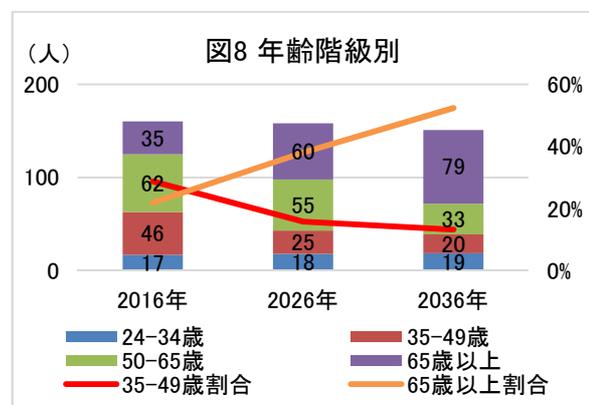
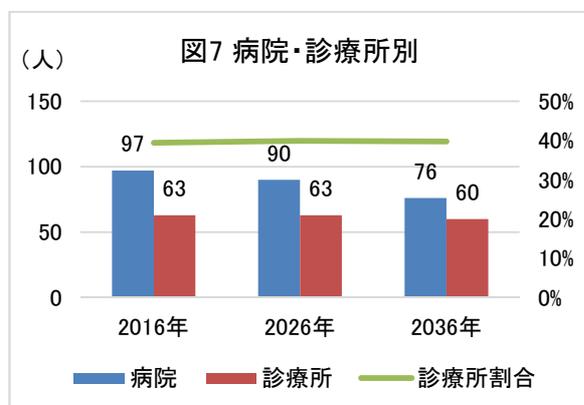
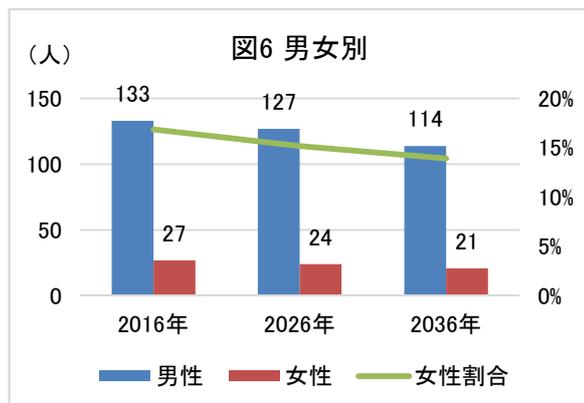
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて19人(-14%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-22%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は14%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて21人(-22%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-5%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は40%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は26人(-57%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて44人(126%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年52%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



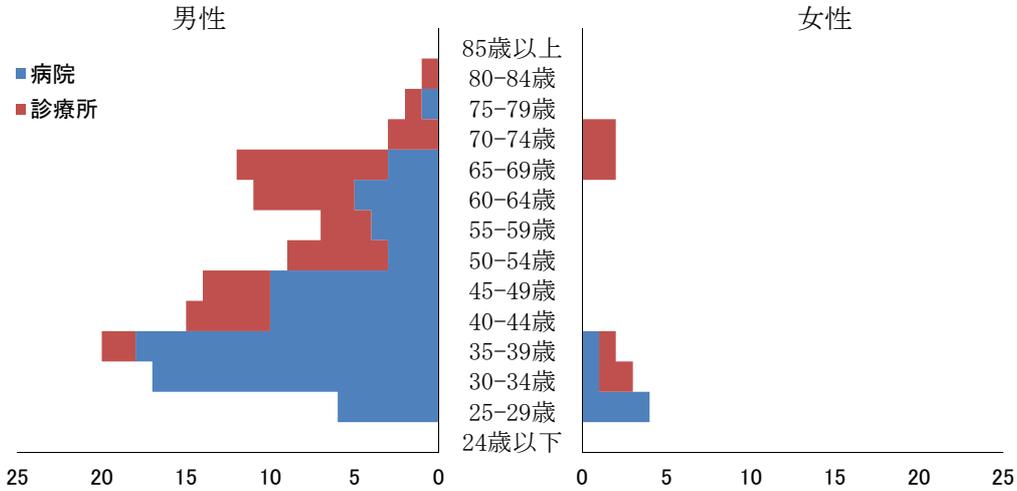
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富岡医療圏

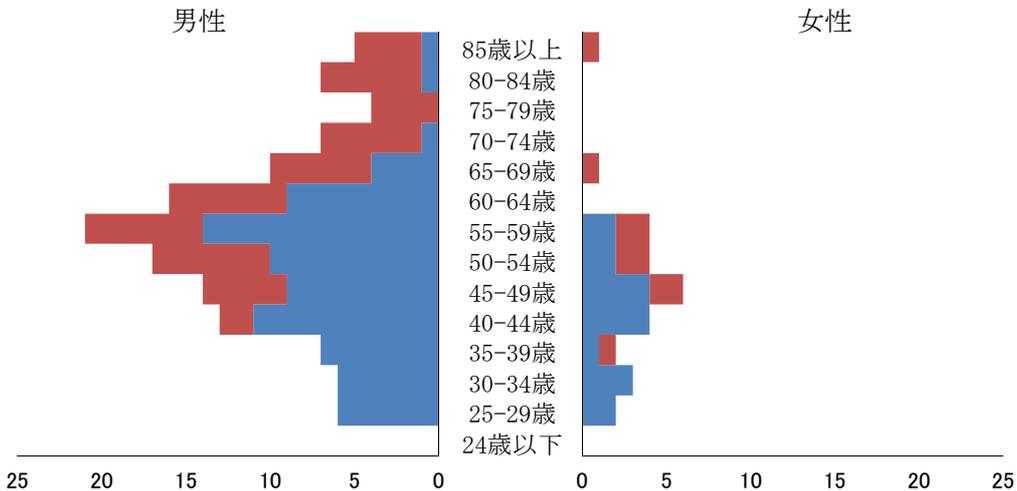
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

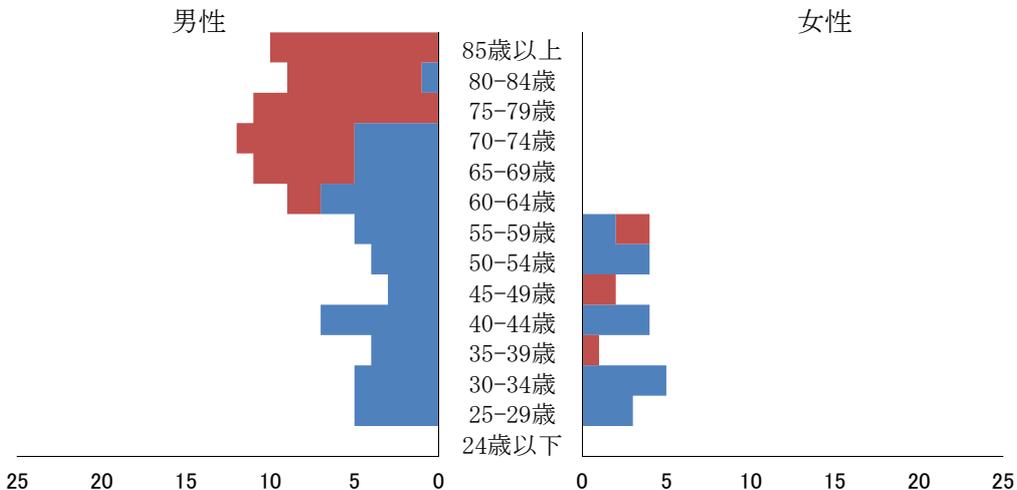
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富岡医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	72,489	64,815	56,395	-16,094	-22%	-7,674	-11%	-8,420	-13%	
医療施設勤務医師数	160	158	151	-9	-6%	-2	-1%	-7	-4%	
人口10万対	220.7	243.8	267.8	47.0	21%	23.0	10%	24.0	10%	
男性医師数	133	127	114	-19	-14%	-6	-5%	-13	-10%	
人口10万対	183.5	195.9	202.1	18.7	10%	12.5	7%	6.2	3%	
女性医師数	27	24	21	-6	-22%	-3	-11%	-3	-13%	
人口10万対	37.2	37.0	37.2	-0.0	0%	-0.2	-1%	0.2	1%	
病院勤務医師数	97	90	76	-21	-22%	-7	-7%	-14	-16%	
人口10万対	133.8	138.9	134.8	1.0	1%	5.0	4%	-4.1	-3%	
診療所勤務医師数	63	63	60	-3	-5%	0	0%	-3	-5%	
人口10万対	86.9	97.2	106.4	19.5	22%	10.3	12%	9.2	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	17	18	19	2	12%	1	6%	1	6%
	35-49歳	46	25	20	-26	-57%	-21	-46%	-5	-20%
	50-64歳	62	55	33	-29	-47%	-7	-11%	-22	-40%
	65歳以上	35	60	79	44	126%	25	71%	19	32%
	75歳以上(再掲)	17	23	43	26	153%	6	35%	20	87%
男性	24-34歳	12	13	10	-2	-17%	1	8%	-3	-23%
	35-49歳	34	19	16	-18	-53%	-15	-44%	-3	-16%
	50-64歳	54	41	24	-30	-56%	-13	-24%	-17	-41%
	65歳以上	33	54	64	31	94%	21	64%	10	19%
	75歳以上(再掲)	16	22	38	22	138%	6	38%	16	73%
女性	24-34歳	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%
	35-49歳	12	7	6	-6	-50%	-5	-42%	-1	-14%
	50-64歳	8	12	7	-1	-13%	4	50%	-5	-42%
	65歳以上	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	17	18	19	2	12%	1	6%	1	6%
	35-49歳	36	21	18	-18	-50%	-15	-42%	-3	-14%
	50-64歳	37	36	25	-12	-32%	-1	-3%	-11	-31%
	65歳以上	7	15	14	7	100%	8	114%	-1	-7%
	75歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	10	3	3	-7	-70%	-7	-70%	0	0%
	50-64歳	25	18	4	-21	-84%	-7	-28%	-14	-78%
	65歳以上	28	42	53	25	89%	14	50%	11	26%
	75歳以上(再掲)	15	22	34	19	127%	7	47%	12	55%
	85歳以上(再掲)	5	6	9	4	80%	1	20%	3	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

吾妻医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は13,619人(-19%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は17人(-18%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は142人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は2%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

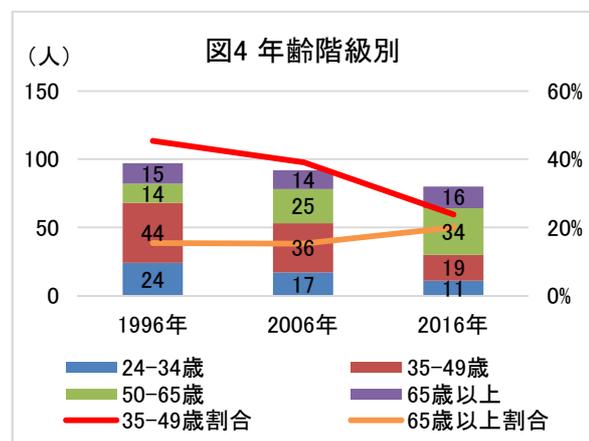
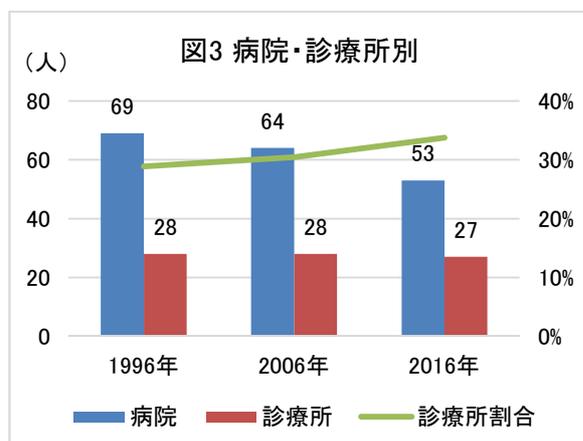
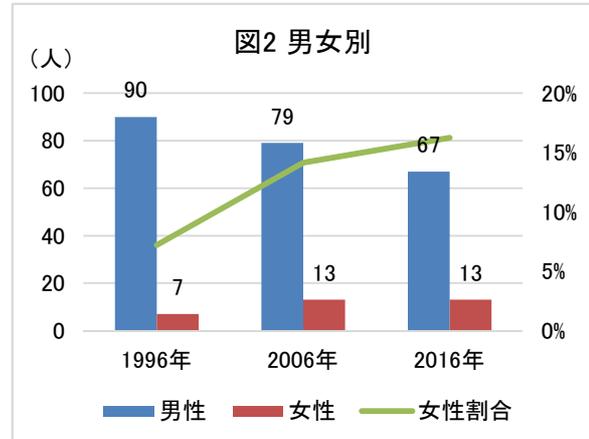
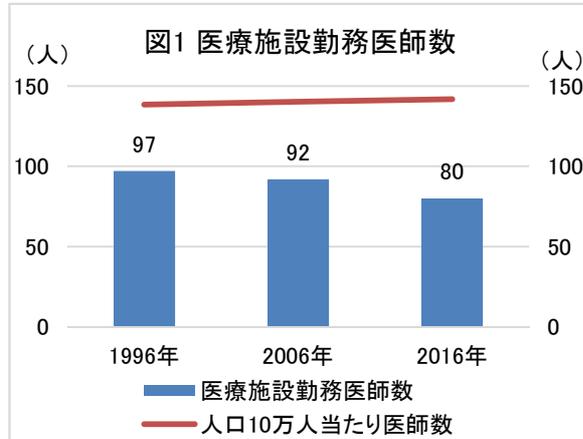
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて23人(-26%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(86%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて16人(-23%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に1人(-4%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は25人(-57%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年15%、2016年20%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

吾妻医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	70,010	65,619	56,391	-13,619	-19%	-4,391	-6%	-9,228	-14%	
総医師数	98	97	82	-16	-16%	-1	-1%	-15	-15%	
人口10万対	140.0	147.8	145.4	5.4	4%	7.8	6%	-2.4	-2%	
医療施設勤務医師数	97	92	80	-17	-18%	-5	-5%	-12	-13%	
人口10万対	138.6	140.2	141.9	3.3	2%	1.7	1%	1.7	1%	
男性医師数	90	79	67	-23	-26%	-11	-12%	-12	-15%	
人口10万対	128.6	120.4	118.8	-9.7	-8%	-8.2	-6%	-1.6	-1%	
女性医師数	7	13	13	6	86%	6	86%	0	0%	
人口10万対	10.0	19.8	23.1	13.1	131%	9.8	98%	3.2	16%	
病院勤務医師数	69	64	53	-16	-23%	-5	-7%	-11	-17%	
人口10万対	98.6	97.5	94.0	-4.6	-5%	-1.0	-1%	-3.5	-4%	
診療所勤務医師数	28	28	27	-1	-4%	0	0%	-1	-4%	
人口10万対	40.0	42.7	47.9	7.9	20%	2.7	7%	5.2	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.5	49.2	54.2	7.7	17%	2.7	6%	5.0	10%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	24	17	11	-13	-54%	-7	-29%	-6	-35%
	35-49歳	44	36	19	-25	-57%	-8	-18%	-17	-47%
	50-64歳	14	25	34	20	143%	11	79%	9	36%
	65歳以上	15	14	16	1	7%	-1	-7%	2	14%
	75歳以上(再掲)	3	7	5	2	67%	4	133%	-2	-29%
男性	24-34歳	24	11	8	-16	-67%	-13	-54%	-3	-27%
	35-49歳	39	33	13	-26	-67%	-6	-15%	-20	-61%
	50-64歳	14	22	31	17	121%	8	57%	9	41%
	65歳以上	13	13	15	2	15%	0	0%	2	15%
	75歳以上(再掲)	2	6	5	3	150%	4	200%	-1	-17%
女性	24-34歳	0	6	3	3		6		-3	-50%
	35-49歳	5	3	6	1	20%	-2	-40%	3	100%
	50-64歳	0	3	3	3		3		0	0%
	65歳以上	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	19	13	8	-11	-58%	-6	-32%	-5	-38%
	35-49歳	35	32	16	-19	-54%	-3	-9%	-16	-50%
	50-64歳	10	13	23	13	130%	3	30%	10	77%
	65歳以上	5	6	6	1	20%	1	20%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	2	1	0	0%	1	100%	-1	-50%
診療所	24-34歳	5	4	3	-2	-40%	-1	-20%	-1	-25%
	35-49歳	9	4	3	-6	-67%	-5	-56%	-1	-25%
	50-64歳	4	12	11	7	175%	8	200%	-1	-8%
	65歳以上	10	8	10	0	0%	-2	-20%	2	25%
	75歳以上(再掲)	2	5	4	2	100%	3	150%	-1	-20%
	85歳以上(再掲)	0	1	0	0		1		-1	-100%

吾妻医療圏

＜医師数の推移＞

吾妻医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、皮膚科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	97	138.6	44	92	140.2	42	80	141.9	39	-17	-18%	3.3	2%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	48	68.6	48	46	70.1	47	42	74.5	45	-6	-13%	5.9	9%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	4	5.7	38	3	4.6	34	2	3.5	32	-2	-50%	-2.2	-38%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	7.1	48	4	6.1	42	4	7.1	40	-1	-20%	-0.0	-1%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	15	21.4	51	12	18.3	50	8	14.2	44	-7	-47%	-7.2	-34%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0.0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	1	1.4	38	1	1.5	36	0	0.0	28	-1	-100%	-1.4	-100%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	8	11.4	47	11	16.8	54	6	10.6	38	-2	-25%	-0.8	-7%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	1.4	39	1	1.5	36	2	3.5	40	1	100%	2.1	148%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	5.7	44	5	7.6	45	3	5.3	38	-1	-25%	-0.4	-7%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	0	0.0	30	0	0.0	28	0	0.0	27	0	0.0	0.0	0.0
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	4.3	51	3	4.6	49	2	3.5	42	-1	-33%	-0.7	-17%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	4	5.7	40	3	4.6	38	2	3.5	35	-2	-50%	-2.2	-38%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.5	51	6	10.6	106	6	100%	10.6	100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	2	3.5	42	2	100%	3.5	100%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	4	5.7	53	2	3.0	46	1	1.8	40	-3	-75%	-3.9	-69%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

吾妻医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は15,039人(-27%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は21人(-26%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は143人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は1%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

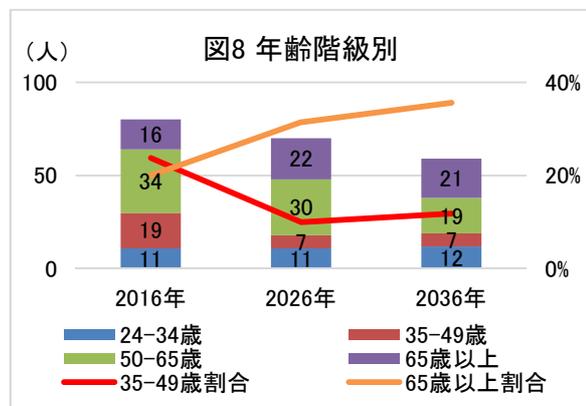
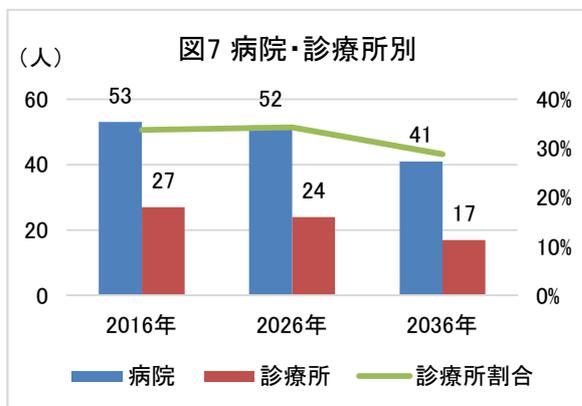
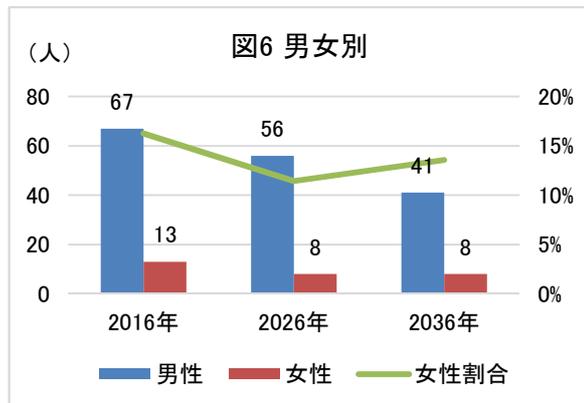
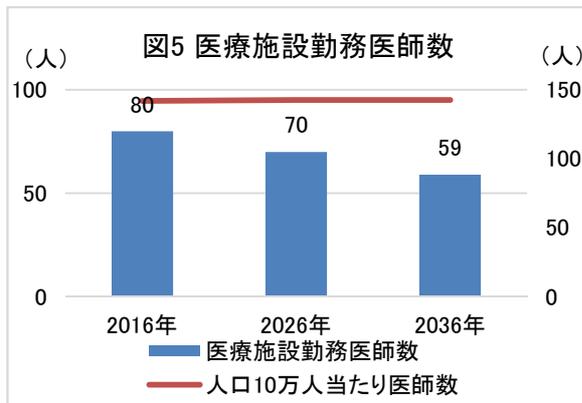
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて26人(-39%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(-38%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は14%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて12人(-23%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に10人(-37%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は29%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は12人(-63%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて5人(31%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年36%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



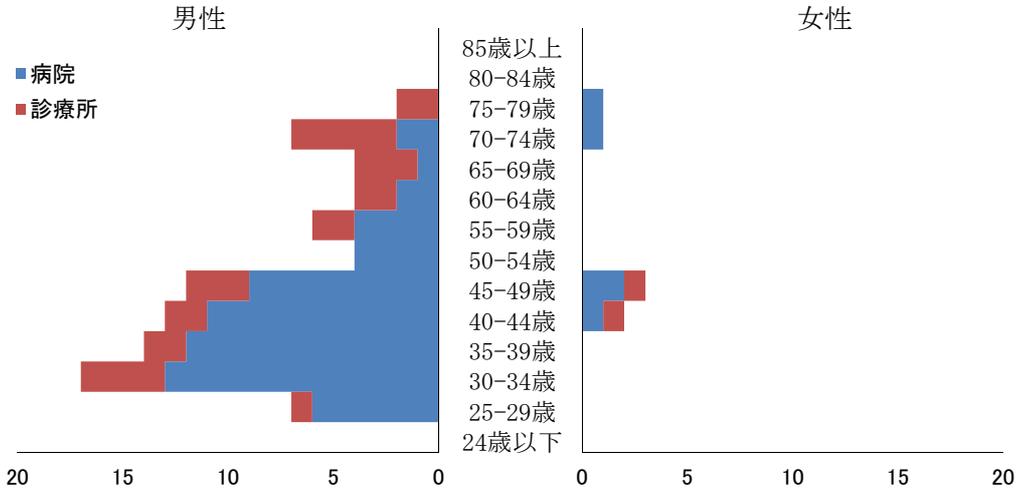
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

吾妻医療圏

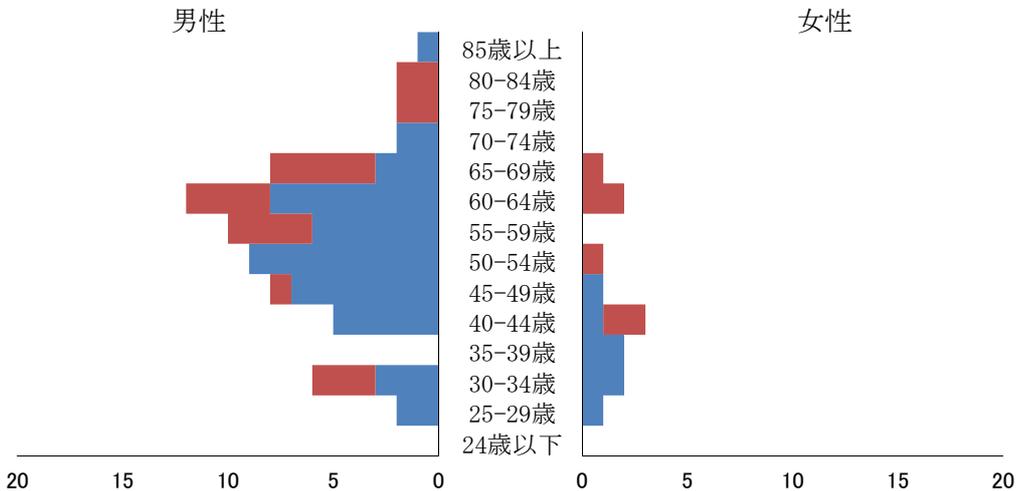
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

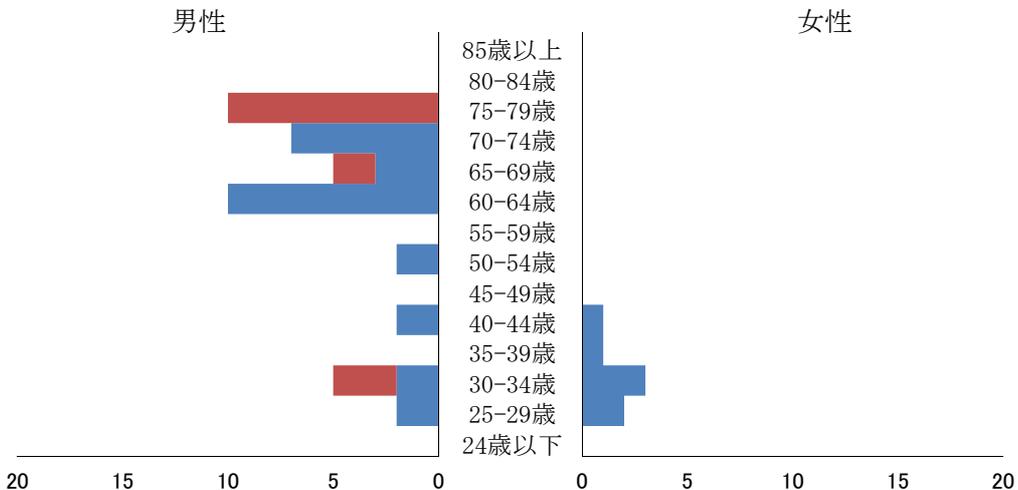
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

吾妻医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	56,391	49,068	41,352	-15,039	-27%	-7,323	-13%	-7,716	-16%	
医療施設勤務医師数	80	70	59	-21	-26%	-10	-13%	-11	-16%	
人口10万対	141.9	142.7	142.7	0.8	1%	0.8	1%	0.0	0%	
男性医師数	67	56	41	-26	-39%	-11	-16%	-15	-27%	
人口10万対	118.8	114.1	99.1	-19.7	-17%	-4.7	-4%	-15.0	-13%	
女性医師数	13	8	8	-5	-38%	-5	-38%	0	0%	
人口10万対	23.1	16.3	19.3	-3.7	-16%	-6.7	-29%	3.0	19%	
病院勤務医師数	53	52	41	-12	-23%	-1	-2%	-11	-21%	
人口10万対	94.0	106.0	99.1	5.2	5%	12.0	13%	-6.8	-6%	
診療所勤務医師数	27	24	17	-10	-37%	-3	-11%	-7	-29%	
人口10万対	47.9	48.9	41.1	-6.8	-14%	1.0	2%	-7.8	-16%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	19	7	7	-12	-63%	-12	-63%	0	0%
	50-64歳	34	30	19	-15	-44%	-4	-12%	-11	-37%
	65歳以上	16	22	21	5	31%	6	38%	-1	-5%
	75歳以上(再掲)	5	7	9	4	80%	2	40%	2	29%
男性	24-34歳	8	8	7	-1	-13%	0	0%	-1	-13%
	35-49歳	13	3	3	-10	-77%	-10	-77%	0	0%
	50-64歳	31	25	11	-20	-65%	-6	-19%	-14	-56%
	65歳以上	15	20	20	5	33%	5	33%	0	0%
	75歳以上(再掲)	5	6	9	4	80%	1	20%	3	50%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	6	4	3	-3	-50%	-2	-33%	-1	-25%
	50-64歳	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	16	6	6	-10	-63%	-10	-63%	0	0%
	50-64歳	23	29	16	-7	-30%	6	26%	-13	-45%
	65歳以上	6	9	11	5	83%	3	50%	2	22%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
	50-64歳	11	2	0	-11	-100%	-9	-82%	-2	-100%
	65歳以上	10	17	12	2	20%	7	70%	-5	-29%
	75歳以上(再掲)	4	12	10	6	150%	8	200%	-2	-17%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

沼田医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は17,530人(-17%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は9人(-6%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は174人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は14%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

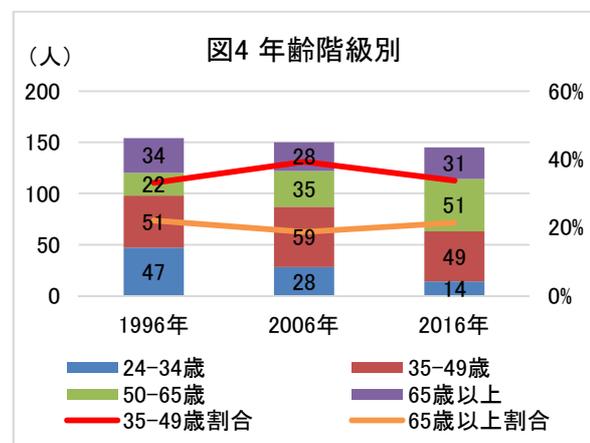
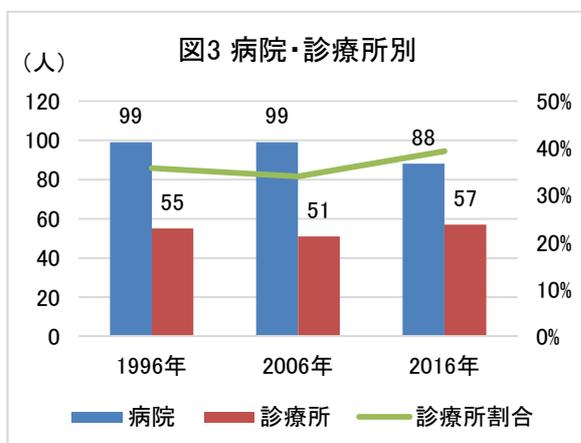
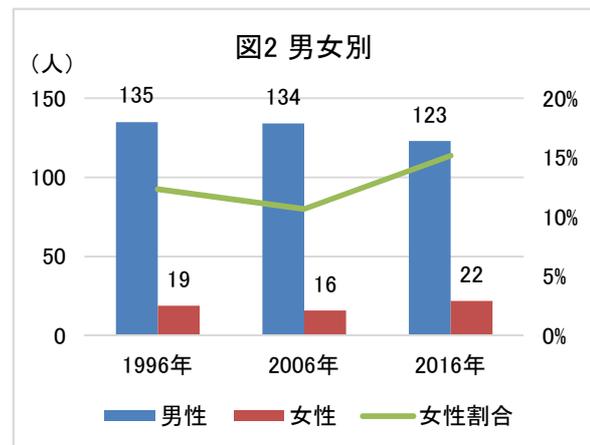
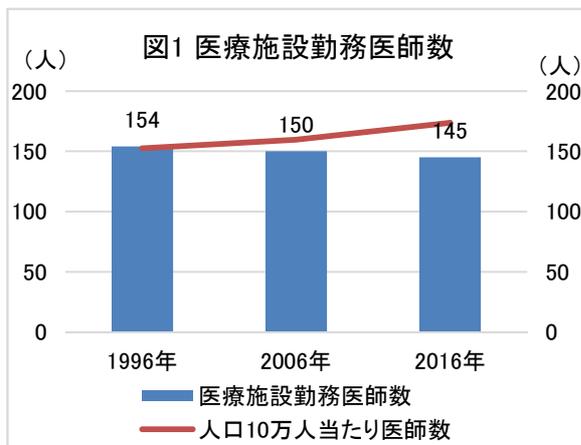
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて12人(-9%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(16%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて11人(-11%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(4%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は39%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は2人(-4%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(-9%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年21%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

沼田医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	100,937	93,927	83,407	-17,530	-17%	-7,010	-7%	-10,520	-11%	
総医師数	158	153	149	-9	-6%	-5	-3%	-4	-3%	
人口10万対	156.5	162.9	178.6	22.1	14%	6.4	4%	15.7	10%	
医療施設勤務医師数	154	150	145	-9	-6%	-4	-3%	-5	-3%	
人口10万対	152.6	159.7	173.8	21.3	14%	7.1	5%	14.1	9%	
男性医師数	135	134	123	-12	-9%	-1	-1%	-11	-8%	
人口10万対	133.7	142.7	147.5	13.7	10%	8.9	7%	4.8	3%	
女性医師数	19	16	22	3	16%	-3	-16%	6	38%	
人口10万対	18.8	17.0	26.4	7.6	40%	-1.8	-10%	9.3	55%	
病院勤務医師数	99	99	88	-11	-11%	0	0%	-11	-11%	
人口10万対	98.1	105.4	105.5	7.4	8%	7.3	7%	0.1	0%	
診療所勤務医師数	55	51	57	2	4%	-4	-7%	6	12%	
人口10万対	54.5	54.3	68.3	13.9	25%	-0.2	0%	14.0	26%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.3	49.8	53.8	6.5	14%	2.4	5%	4.1	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	47	28	14	-33	-70%	-19	-40%	-14	-50%
	35-49歳	51	59	49	-2	-4%	8	16%	-10	-17%
	50-64歳	22	35	51	29	132%	13	59%	16	46%
	65歳以上	34	28	31	-3	-9%	-6	-18%	3	11%
	75歳以上(再掲)	9	14	16	7	78%	5	56%	2	14%
男性	24-34歳	39	22	11	-28	-72%	-17	-44%	-11	-50%
	35-49歳	45	53	37	-8	-18%	8	18%	-16	-30%
	50-64歳	21	34	46	25	119%	13	62%	12	35%
	65歳以上	30	25	29	-1	-3%	-5	-17%	4	16%
	75歳以上(再掲)	7	12	15	8	114%	5	71%	3	25%
女性	24-34歳	8	6	3	-5	-63%	-2	-25%	-3	-50%
	35-49歳	6	6	12	6	100%	0	0%	6	100%
	50-64歳	1	1	5	4	400%	0	0%	4	400%
	65歳以上	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	75歳以上(再掲)	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%
病院	24-34歳	46	28	14	-32	-70%	-18	-39%	-14	-50%
	35-49歳	33	44	38	5	15%	11	33%	-6	-14%
	50-64歳	11	20	25	14	127%	9	82%	5	25%
	65歳以上	9	7	11	2	22%	-2	-22%	4	57%
	75歳以上(再掲)	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	18	15	11	-7	-39%	-3	-17%	-4	-27%
	50-64歳	11	15	26	15	136%	4	36%	11	73%
	65歳以上	25	21	20	-5	-20%	-4	-16%	-1	-5%
	75歳以上(再掲)	7	12	12	5	71%	5	71%	0	0%
	85歳以上(再掲)	1	3	5	4	400%	2	200%	2	67%

沼田医療圏

＜医師数の推移＞

沼田医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、脳神経外科であり、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、眼科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	154	152.6	46	150	159.7	44	145	173.8	43	-9	-6%	21.3	14%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	78	77.3	51	68	72.4	48	66	79.1	47	-12	-15%	1.9	2%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	6	5.9	39	7	7.5	41	7	8.4	41	1	17%	2.4	41%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	3.0	37	3	3.2	36	1	1.2	30	-2	-67%	-1.8	-60%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	15	14.9	44	13	13.8	44	14	16.8	47	-1	-7%	1.9	13%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	1.0	46	1	1.1	44	1	1.2	43	0	0%	0.2	21%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	8	7.9	64	7	7.5	61	7	8.4	60	-1	-13%	0.5	6%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	13	12.9	50	10	10.6	41	12	14.4	45	-1	-8%	1.5	12%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	5.0	49	6	6.4	51	4	4.8	43	-1	-20%	-0.2	-3%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	3	3.0	38	5	5.3	39	8	9.6	48	5	167%	6.6	223%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	4.0	41	1	1.1	31	1	1.2	30	-3	-75%	-2.8	-70%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	4.0	49	4	4.3	48	2	2.4	38	-2	-50%	-1.6	-39%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	8.9	48	6	6.4	43	6	7.2	43	-3	-33%	-1.7	-19%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	2.0	67	2	2.1	56	1	1.2	45	-1	-50%	-0.8	-39%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	1.0	42	2	2.1	44	2	2.4	42	1	100%	1.4	142%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	1.0	41	4	4.3	48	3	3.6	42	2	200%	2.6	263%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	1.2	44	1		1.2	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				8	8.5	47	5	6.0	42	5	-38%	-2.5	-30%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.0	42	3	3.2	46	4	4.8	46	3	300%	3.8	384%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

沼田医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は18,755人(-22%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は28人(-19%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は181人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は4%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

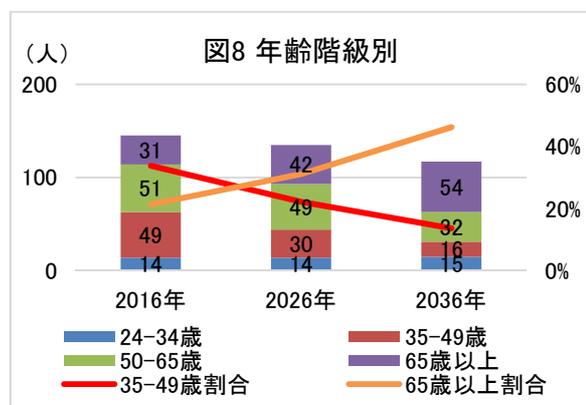
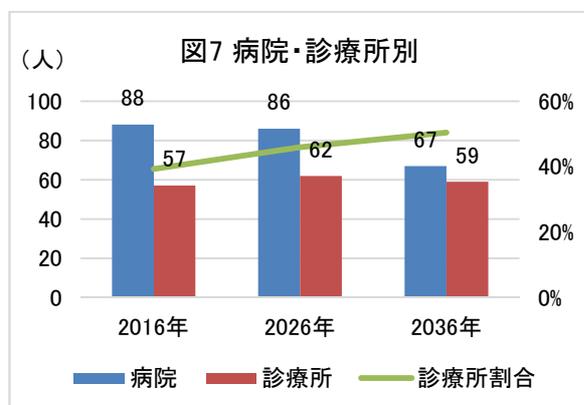
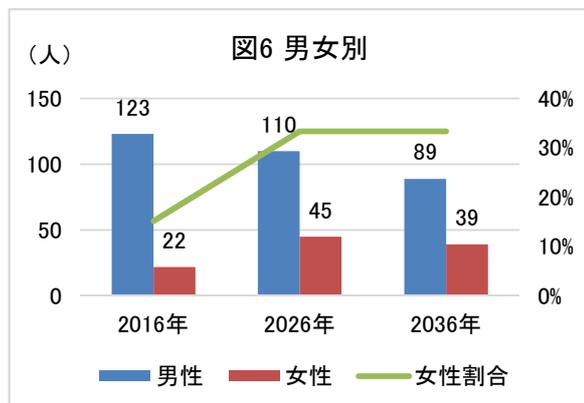
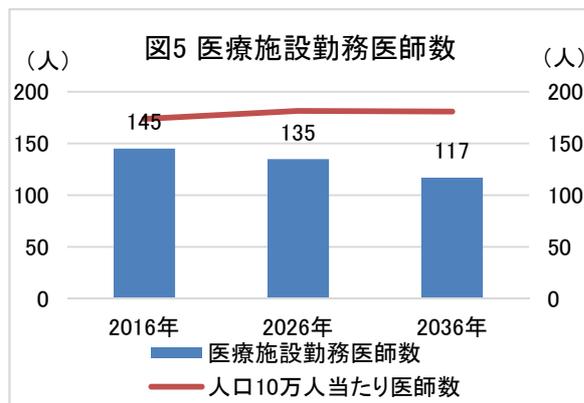
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて34人(-28%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に17人(77%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は33%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて21人(-24%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(4%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は50%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は33人(-67%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて23人(74%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年46%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



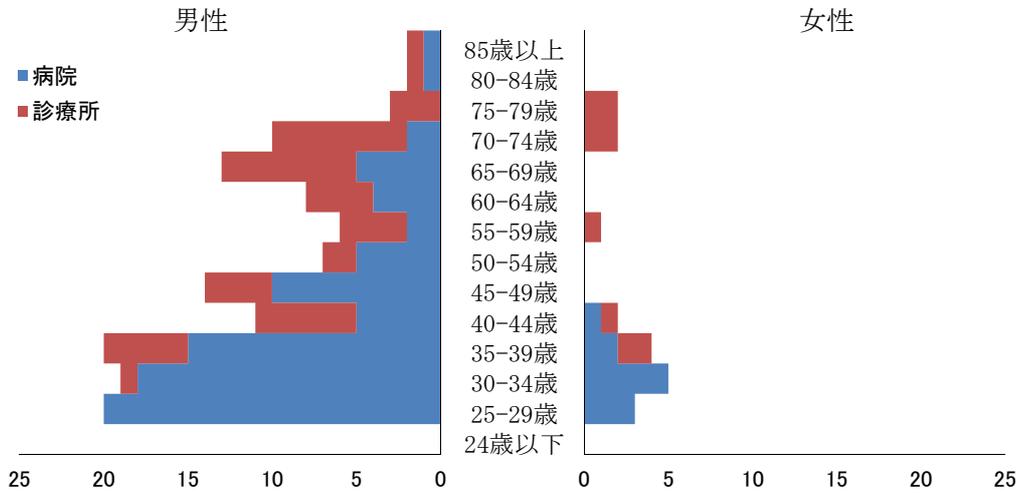
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

沼田医療圏

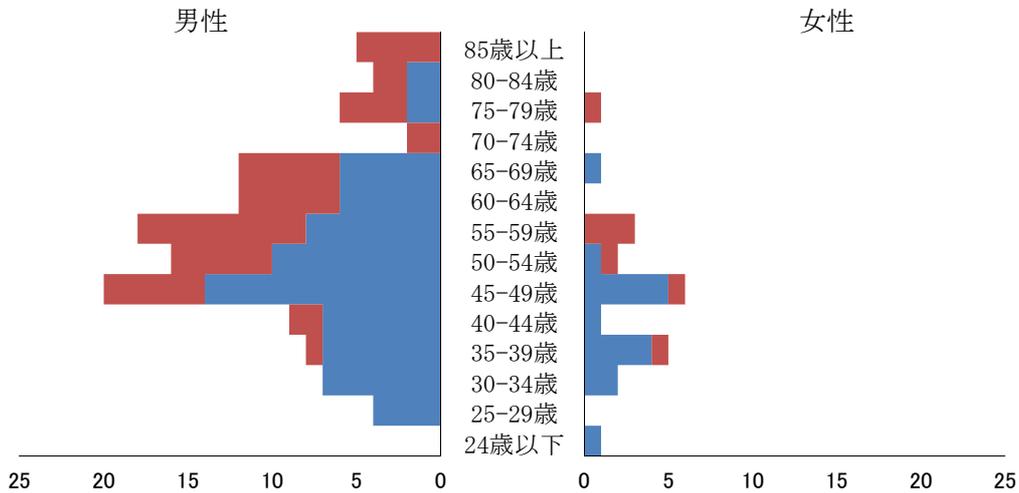
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

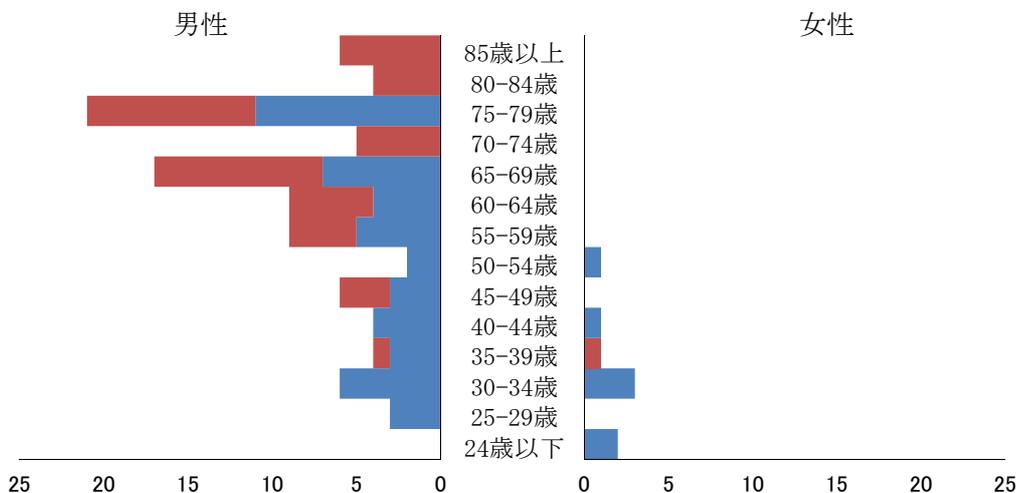
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

沼田医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	83,407	74,302	64,652	-18,755	-22%	-9,105	-11%	-9,650	-13%	
医療施設勤務医師数	145	135	117	-28	-19%	-10	-7%	-18	-13%	
人口10万対	173.8	181.7	181.0	7.1	4%	7.8	5%	-0.7	0%	
男性医師数	123	110	89	-34	-28%	-13	-11%	-21	-19%	
人口10万対	147.5	148.0	137.7	-9.8	-7%	0.6	0%	-10.4	-7%	
女性医師数	22	45	39	17	77%	23	105%	-6	-13%	
人口10万対	26.4	60.6	60.3	33.9	129%	34.2	130%	-0.2	0%	
病院勤務医師数	88	86	67	-21	-24%	-2	-2%	-19	-22%	
人口10万対	105.5	115.7	103.6	-1.9	-2%	10.2	10%	-12.1	-10%	
診療所勤務医師数	57	62	59	2	4%	5	9%	-3	-5%	
人口10万対	68.3	83.4	91.3	22.9	34%	15.1	22%	7.8	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	49	30	16	-33	-67%	-19	-39%	-14	-47%
	50-64歳	51	49	32	-19	-37%	-2	-4%	-17	-35%
	65歳以上	31	42	54	23	74%	11	35%	12	29%
	75歳以上(再掲)	16	20	27	11	69%	4	25%	7	35%
男性	24-34歳	11	11	9	-2	-18%	0	0%	-2	-18%
	35-49歳	37	19	13	-24	-65%	-18	-49%	-6	-32%
	50-64歳	46	42	20	-26	-57%	-4	-9%	-22	-52%
	65歳以上	29	38	47	18	62%	9	31%	9	24%
	75歳以上(再掲)	15	19	25	10	67%	4	27%	6	32%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	12	31	1	-11	-92%	19	158%	-30	-97%
	50-64歳	5	7	25	20	400%	2	40%	18	257%
	65歳以上	2	4	8	6	300%	2	100%	4	100%
	75歳以上(再掲)	1	1	3	2	200%	0	0%	2	200%
病院	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	38	22	13	-25	-66%	-16	-42%	-9	-41%
	50-64歳	25	30	18	-7	-28%	5	20%	-12	-40%
	65歳以上	11	20	21	10	91%	9	82%	1	5%
	75歳以上(再掲)	4	14	11	7	175%	10	250%	-3	-21%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	11	9	9	-2	-18%	-2	-18%	0	0%
	50-64歳	26	20	13	-13	-50%	-6	-23%	-7	-35%
	65歳以上	20	33	37	17	85%	13	65%	4	12%
	75歳以上(再掲)	12	11	22	10	83%	-1	-8%	11	100%
	85歳以上(再掲)	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

伊勢崎医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は26,804人（12%）増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は119人（39%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は174人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は23%増え、その伸び率は全国平均（31%）を下回る。

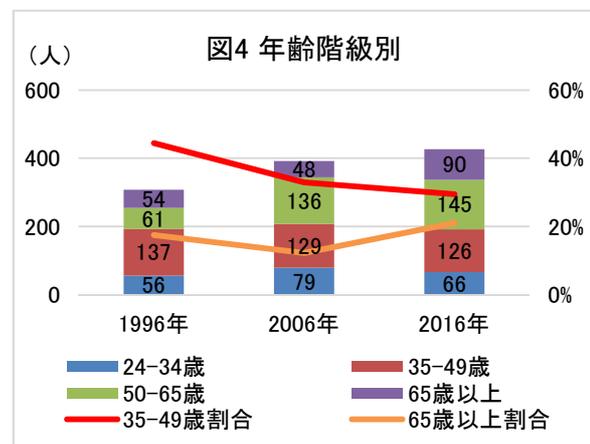
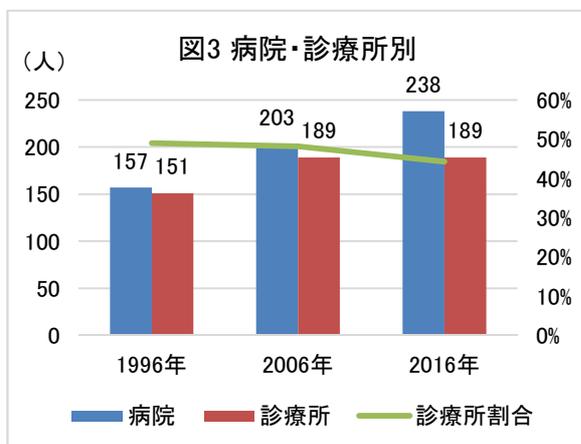
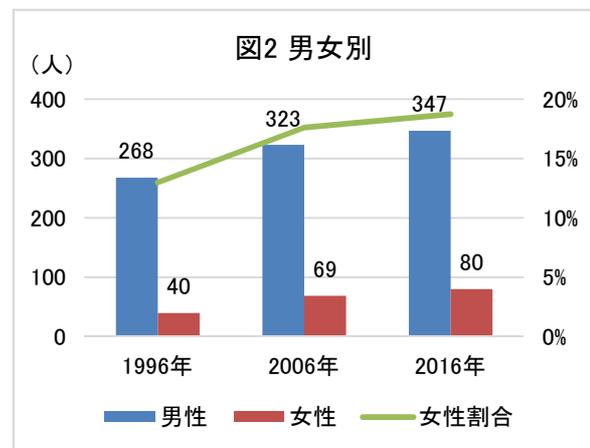
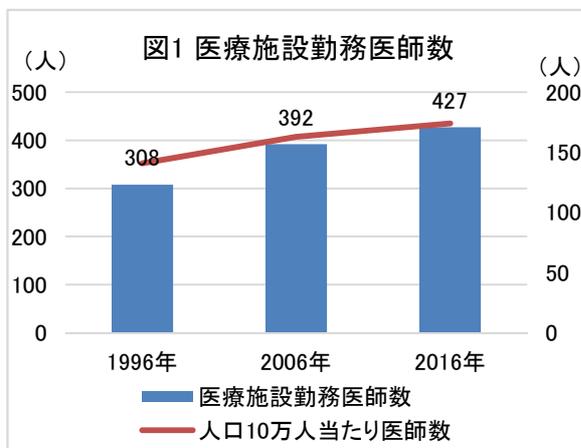
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて79人（29%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。女性医師は、同期間に40人（100%）増え、全国平均（111%）を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は19%と、全国平均（21%）を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて81人（52%）増え、全国平均（37%）を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に38人（25%）増え、全国平均（25%）と同程度の増加率である。2016年の診療所医師割合は44%と、全国平均（34%）を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は11人（-8%）減り、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて36人（67%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

伊勢崎医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	218,664	240,615	245,468	26,804	12%	21,951	10%	4,853	2%	
総医師数	311	399	441	130	42%	88	28%	42	11%	
人口10万対	142.2	165.8	179.7	37.4	26%	23.6	17%	13.8	8%	
医療施設勤務医師数	308	392	427	119	39%	84	27%	35	9%	
人口10万対	140.9	162.9	174.0	33.1	23%	22.1	16%	11.0	7%	
男性医師数	268	323	347	79	29%	55	21%	24	7%	
人口10万対	122.6	134.2	141.4	18.8	15%	11.7	10%	7.1	5%	
女性医師数	40	69	80	40	100%	29	73%	11	16%	
人口10万対	18.3	28.7	32.6	14.3	78%	10.4	57%	3.9	14%	
病院勤務医師数	157	203	238	81	52%	46	29%	35	17%	
人口10万対	71.8	84.4	97.0	25.2	35%	12.6	18%	12.6	15%	
診療所勤務医師数	151	189	189	38	25%	38	25%	0	0%	
人口10万対	69.1	78.5	77.0	7.9	11%	9.5	14%	-1.6	-2%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.0	48.9	52.0	3.0	6%	-0.1	0%	3.1	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	56	79	66	10	18%	23	41%	-13	-16%
	35-49歳	137	129	126	-11	-8%	-8	-6%	-3	-2%
	50-64歳	61	136	145	84	138%	75	123%	9	7%
	65歳以上	54	48	90	36	67%	-6	-11%	42	88%
	75歳以上(再掲)	17	26	20	3	18%	9	53%	-6	-23%
男性	24-34歳	41	55	50	9	22%	14	34%	-5	-9%
	35-49歳	122	106	96	-26	-21%	-16	-13%	-10	-9%
	50-64歳	54	118	125	71	131%	64	119%	7	6%
	65歳以上	51	44	76	25	49%	-7	-14%	32	73%
	75歳以上(再掲)	16	25	18	2	13%	9	56%	-7	-28%
女性	24-34歳	15	24	16	1	7%	9	60%	-8	-33%
	35-49歳	15	23	30	15	100%	8	53%	7	30%
	50-64歳	7	18	20	13	186%	11	157%	2	11%
	65歳以上	3	4	14	11	367%	1	33%	10	250%
	75歳以上(再掲)	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
病院	24-34歳	52	71	63	11	21%	19	37%	-8	-11%
	35-49歳	76	83	87	11	14%	7	9%	4	5%
	50-64歳	26	46	65	39	150%	20	77%	19	41%
	65歳以上	3	3	23	20	667%	0	0%	20	667%
	75歳以上(再掲)	0	0	2	2		0		2	
診療所	24-34歳	4	8	3	-1	-25%	4	100%	-5	-63%
	35-49歳	61	46	39	-22	-36%	-15	-25%	-7	-15%
	50-64歳	35	90	80	45	129%	55	157%	-10	-11%
	65歳以上	51	45	67	16	31%	-6	-12%	22	49%
	75歳以上(再掲)	17	26	18	1	6%	9	53%	-8	-31%
	85歳以上(再掲)	0	4	7	7		4		3	75%

伊勢崎医療圏

＜医師数の推移＞

伊勢崎医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科はない。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、皮膚科、眼科、泌尿器科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	308	140.9	45	392	162.9	45	427	174.0	43	119	39%	33.1	23%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	128	58.5	45	155	64.4	45	147	59.9	41	19	15%	1.3	2%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	23	10.5	49	23	9.6	46	28	11.4	46	5	22%	0.9	8%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	24	11.0	57	24	10.0	50	40	16.3	57	16	67%	5.3	48%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	30	13.7	42	37	15.4	46	38	15.5	45	8	27%	1.8	13%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0		0.0	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	3	1.2	45	6	2.4	50	6		2.4	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	8	3.7	47	11	4.6	49	11	4.5	45	3	38%	0.8	22%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	24	11.0	46	27	11.2	43	30	12.2	41	6	25%	1.2	11%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.9	49	3	1.2	48	2	0.8	42	0	0%	-0.1	-11%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	8	3.7	45	14	5.8	49	12	4.9	44	4	50%	1.2	34%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	10	4.6	41	16	6.6	43	15	6.1	40	5	50%	1.5	34%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	11	5.0	44	9	3.7	40	12	4.9	42	1	9%	-0.1	-3%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	8	3.7	48	12	5.0	51	12	4.9	47	4	50%	1.2	34%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	16	7.3	44	15	6.2	42	17	6.9	43	1	6%	-0.4	-5%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.9	53	3	1.2	48	2	0.8	43	0	0%	-0.1	-11%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	5	2.3	47	6	2.5	46	5	2.0	41	0	0%	-0.2	-11%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	6	2.7	46	9	3.7	47	12	4.9	45	6	100%	2.1	78%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	4	1.6	46	4		1.6	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				21	8.7	47	27	11.0	48	27	29%	2.3	26%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	1.4	43	4	1.7	43	7	2.9	42	4	133%	1.5	108%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

伊勢崎医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は15,619人(-6%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は33人(8%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は200人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は15%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

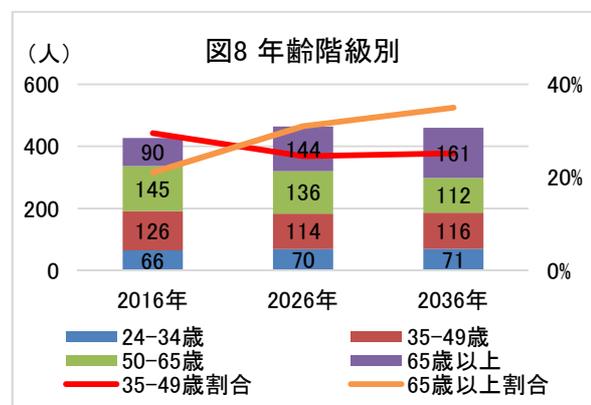
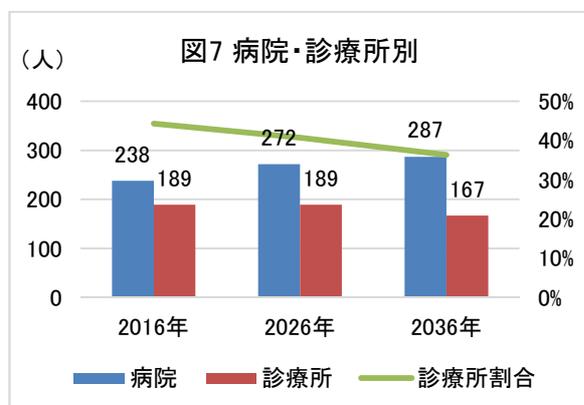
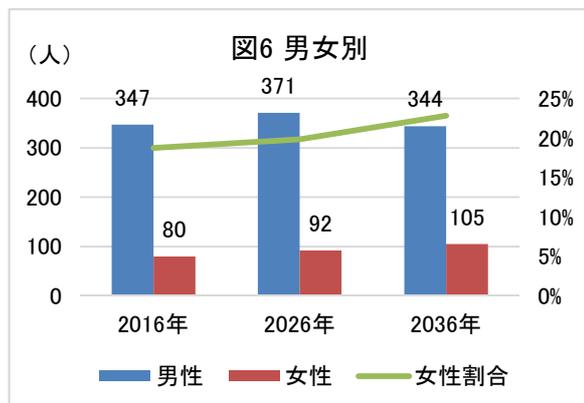
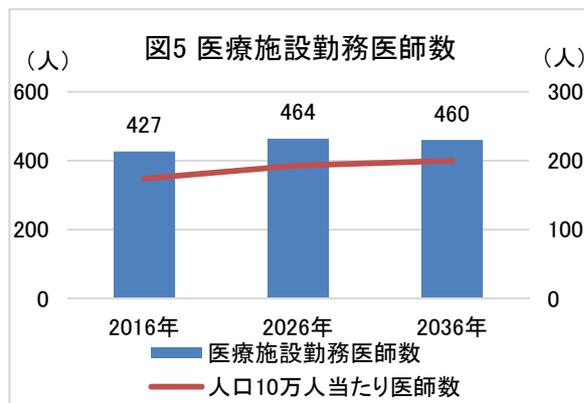
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて3人(-1%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に25人(31%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は23%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて49人(21%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に22人(-12%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は36%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は10人(-8%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて71人(79%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年35%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



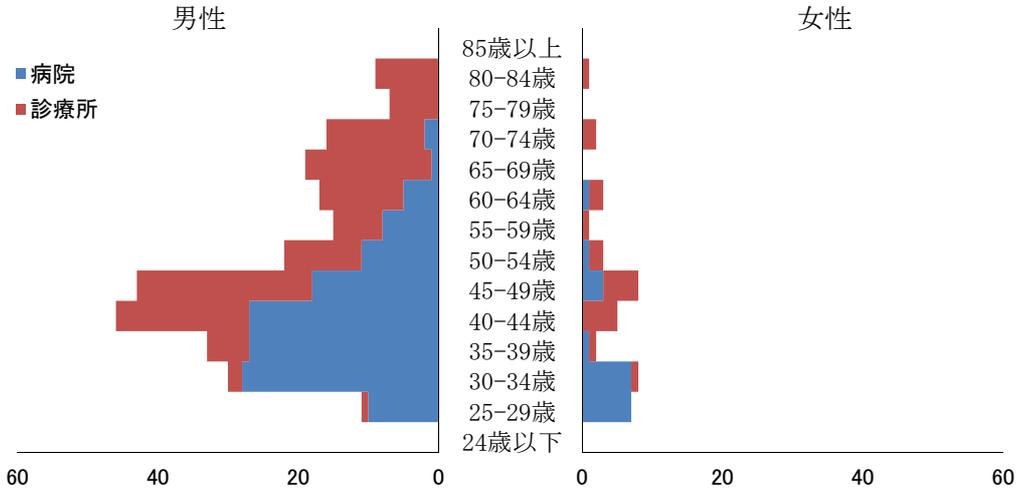
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

伊勢崎医療圏

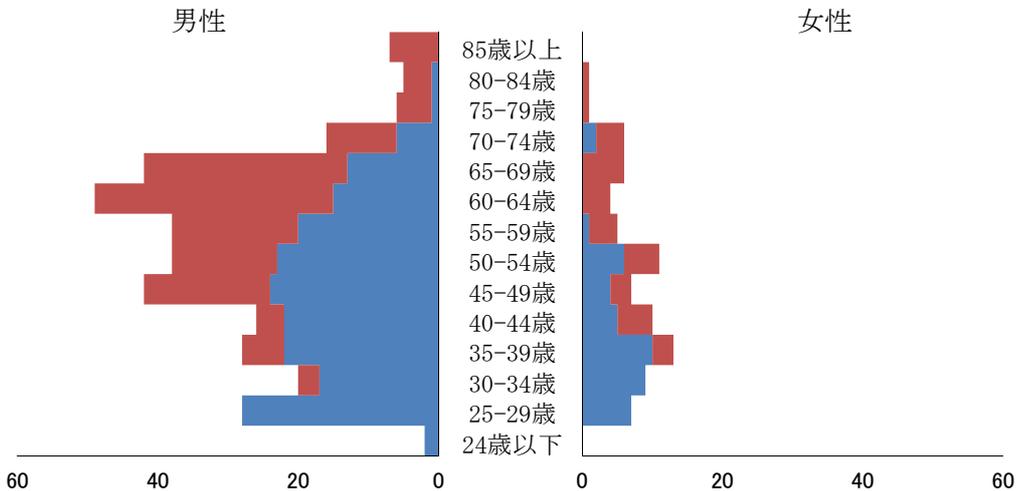
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

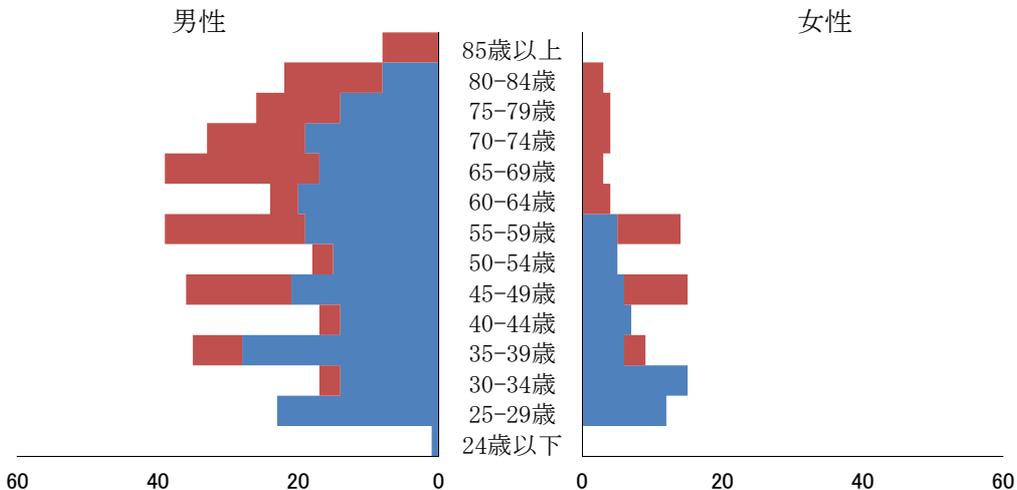
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

伊勢崎医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	245,468	240,208	229,849	-15,619	-6%	-5,260	-2%	-10,359	-4%	
医療施設勤務医師数	427	464	460	33	8%	37	9%	-4	-1%	
人口10万対	174.0	193.2	200.1	26.2	15%	19.2	11%	7.0	4%	
男性医師数	347	371	344	-3	-1%	24	7%	-27	-7%	
人口10万対	141.4	154.4	149.7	8.3	6%	13.1	9%	-4.8	-3%	
女性医師数	80	92	105	25	31%	12	15%	13	14%	
人口10万対	32.6	38.3	45.7	13.1	40%	5.7	18%	7.4	19%	
病院勤務医師数	238	272	287	49	21%	34	14%	15	6%	
人口10万対	97.0	113.2	124.9	27.9	29%	16.3	17%	11.6	10%	
診療所勤務医師数	189	189	167	-22	-12%	0	0%	-22	-12%	
人口10万対	77.0	78.7	72.7	-4.3	-6%	1.7	2%	-6.0	-8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	66	70	71	5	8%	4	6%	1	1%
	35-49歳	126	114	116	-10	-8%	-12	-10%	2	2%
	50-64歳	145	136	112	-33	-23%	-9	-6%	-24	-18%
	65歳以上	90	144	161	71	79%	54	60%	17	12%
	75歳以上(再掲)	20	52	68	48	240%	32	160%	16	31%
男性	24-34歳	50	54	40	-10	-20%	4	8%	-14	-26%
	35-49歳	96	83	91	-5	-5%	-13	-14%	8	10%
	50-64歳	125	112	81	-44	-35%	-13	-10%	-31	-28%
	65歳以上	76	122	132	56	74%	46	61%	10	8%
	75歳以上(再掲)	18	44	57	39	217%	26	144%	13	30%
女性	24-34歳	16	17	27	11	69%	1	6%	10	59%
	35-49歳	30	34	27	-3	-10%	4	13%	-7	-21%
	50-64歳	20	22	29	9	45%	2	10%	7	32%
	65歳以上	14	19	22	8	57%	5	36%	3	16%
	75歳以上(再掲)	2	9	7	5	250%	7	350%	-2	-22%
病院	24-34歳	63	67	68	5	8%	4	6%	1	1%
	35-49歳	87	79	81	-6	-7%	-8	-9%	2	3%
	50-64歳	65	79	71	6	9%	14	22%	-8	-10%
	65歳以上	23	47	67	44	191%	24	104%	20	43%
	75歳以上(再掲)	2	17	22	20	1000%	15	750%	5	29%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	39	36	37	-2	-5%	-3	-8%	1	3%
	50-64歳	80	54	41	-39	-49%	-26	-33%	-13	-24%
	65歳以上	67	96	86	19	28%	29	43%	-10	-10%
	75歳以上(再掲)	18	37	43	25	139%	19	106%	6	16%
	85歳以上(再掲)	7	5	10	3	43%	-2	-29%	5	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

桐生医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は23,556人(-12%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は9人(3%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は186人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は18%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

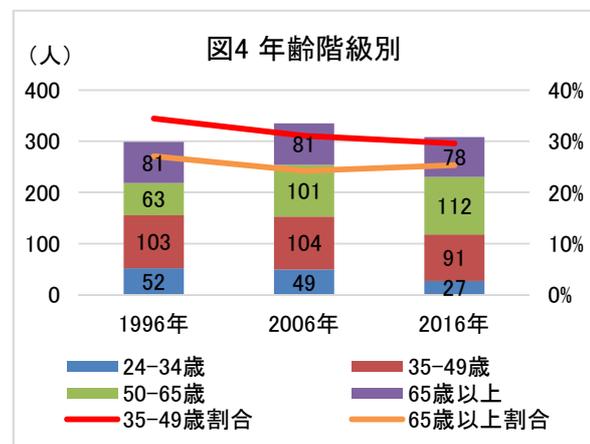
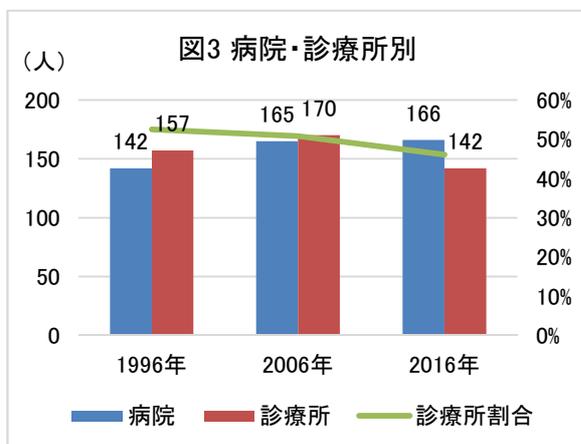
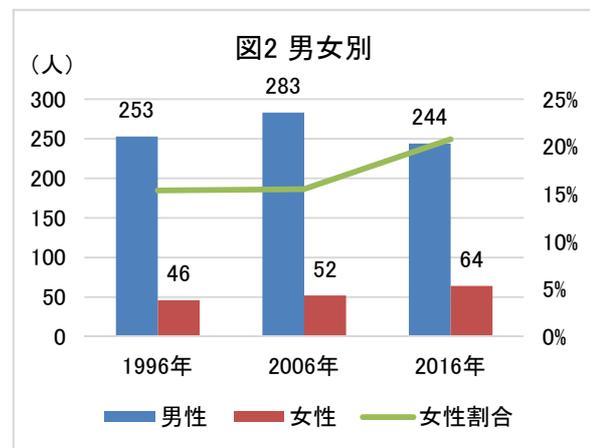
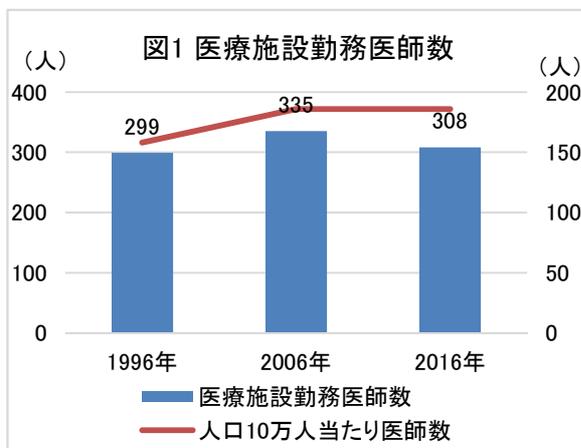
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて9人(-4%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に18人(39%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて24人(17%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に15人(-10%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は46%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は12人(-12%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(-4%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年27%、2016年25%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

桐生医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	189,176	180,152	165,620	-23,556	-12%	-9,024	-5%	-14,532	-8%	
総医師数	308	342	323	15	5%	34	11%	-19	-6%	
人口10万対	162.8	189.8	195.0	32.2	20%	27.0	17%	5.2	3%	
医療施設勤務医師数	299	335	308	9	3%	36	12%	-27	-8%	
人口10万対	158.1	186.0	186.0	27.9	18%	27.9	18%	0.0	0%	
男性医師数	253	283	244	-9	-4%	30	12%	-39	-14%	
人口10万対	133.7	157.1	147.3	13.6	10%	23.4	17%	-9.8	-6%	
女性医師数	46	52	64	18	39%	6	13%	12	23%	
人口10万対	24.3	28.9	38.6	14.3	59%	4.5	19%	9.8	34%	
病院勤務医師数	142	165	166	24	17%	23	16%	1	1%	
人口10万対	75.1	91.6	100.2	25.2	34%	16.5	22%	8.6	9%	
診療所勤務医師数	157	170	142	-15	-10%	13	8%	-28	-16%	
人口10万対	83.0	94.4	85.7	2.7	3%	11.4	14%	-8.6	-9%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.9	53.2	54.7	2.8	5%	1.2	2%	1.6	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	52	49	27	-25	-48%	-3	-6%	-22	-45%
	35-49歳	103	104	91	-12	-12%	1	1%	-13	-13%
	50-64歳	63	101	112	49	78%	38	60%	11	11%
	65歳以上	81	81	78	-3	-4%	0	0%	-3	-4%
	75歳以上(再掲)	23	47	26	3	13%	24	104%	-21	-45%
男性	24-34歳	44	34	17	-27	-61%	-10	-23%	-17	-50%
	35-49歳	87	92	62	-25	-29%	5	6%	-30	-33%
	50-64歳	53	83	99	46	87%	30	57%	16	19%
	65歳以上	69	74	66	-3	-4%	5	7%	-8	-11%
	75歳以上(再掲)	19	42	25	6	32%	23	121%	-17	-40%
女性	24-34歳	8	15	10	2	25%	7	88%	-5	-33%
	35-49歳	16	12	29	13	81%	-4	-25%	17	142%
	50-64歳	10	18	13	3	30%	8	80%	-5	-28%
	65歳以上	12	7	12	0	0%	-5	-42%	5	71%
	75歳以上(再掲)	4	5	1	-3	-75%	1	25%	-4	-80%
病院	24-34歳	50	46	27	-23	-46%	-4	-8%	-19	-41%
	35-49歳	57	62	65	8	14%	5	9%	3	5%
	50-64歳	25	39	55	30	120%	14	56%	16	41%
	65歳以上	10	18	19	9	90%	8	80%	1	6%
	75歳以上(再掲)	1	6	5	4	400%	5	500%	-1	-17%
診療所	24-34歳	2	3	0	-2	-100%	1	50%	-3	-100%
	35-49歳	46	42	26	-20	-43%	-4	-9%	-16	-38%
	50-64歳	38	62	57	19	50%	24	63%	-5	-8%
	65歳以上	71	63	59	-12	-17%	-8	-11%	-4	-6%
	75歳以上(再掲)	22	41	21	-1	-5%	19	86%	-20	-49%
	85歳以上(再掲)	4	6	8	4	100%	2	50%	2	33%

桐生医療圏

＜医師数の推移＞

桐生医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児科であり、少ない診療科は、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	299	158.1	47	335	186.0	47	308	186.0	44	9	3%	27.9	18%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	138	72.9	49	144	79.9	51	134	80.9	47	-4	-3%	8.0	11%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	28	14.8	59	32	17.8	64	30	18.1	59	2	7%	3.3	22%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	3.7	39	10	5.6	41	9	5.4	37	2	29%	1.7	47%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	35	18.5	48	32	17.8	49	31	18.7	50	-4	-11%	0.2	1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.5	51	0	0.0	41	0	0.0	41	-1	-100%	-0.5	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.5	43	2	1.1	45	0	0.0	36	-1	-100%	-0.5	-100%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	2.1	41	5	2.8	41	3	1.8	35	-1	-25%	-0.3	-14%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	20	10.6	45	26	14.4	49	21	12.7	42	1	5%	2.1	20%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	1	0.6	41	1		0.6	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	9	4.8	48	10	5.6	48	13	7.8	52	4	44%	3.1	65%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	12	6.3	45	15	8.3	47	13	7.8	44	1	8%	1.5	24%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	9	4.8	44	9	5.0	44	8	4.8	42	-1	-11%	0.1	2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	6	3.2	46	6	3.3	44	7	4.2	45	1	17%	1.1	33%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	20	10.6	52	15	8.3	48	11	6.6	42	-9	-45%	-3.9	-37%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	3	1.7	52	1	0.6	41	1		0.6	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	2.1	46	2	1.1	41	4	2.4	42	0	0%	0.3	14%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	4	2.1	44	7	3.9	47	10	6.0	47	6	150%	3.9	186%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	0.6	41	1		0.6	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				13	7.2	45	5	3.0	39	5	-62%	-4.2	-58%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.5	41	4	2.2	44	6	3.6	43	5	500%	3.1	585%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

桐生医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は35,458人(-21%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は55人(-18%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は194人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は5%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

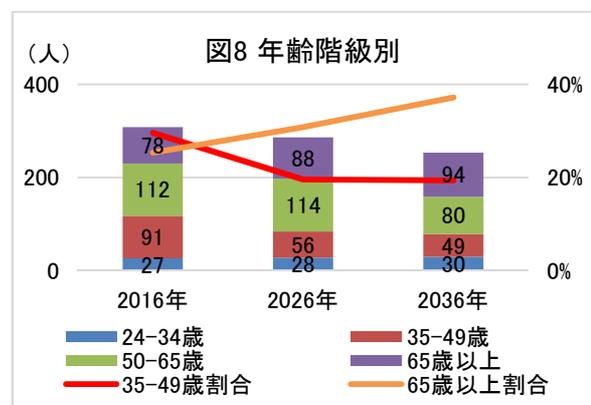
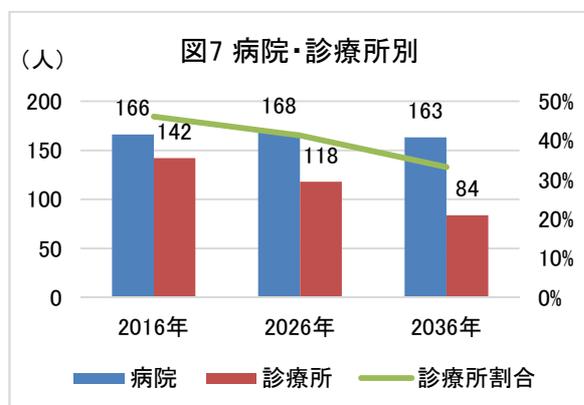
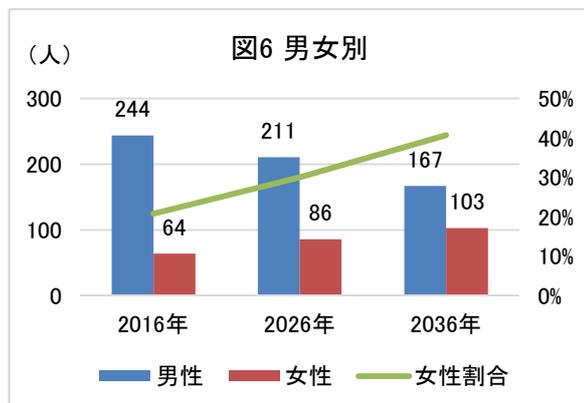
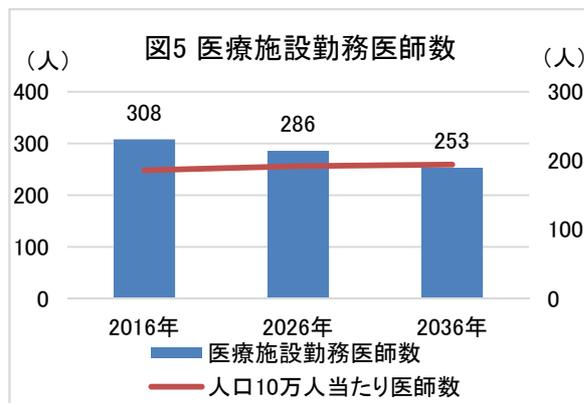
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて77人(-32%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に39人(61%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は41%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて3人(-2%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に58人(-41%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は33%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は42人(-46%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて16人(21%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年25%、2036年37%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



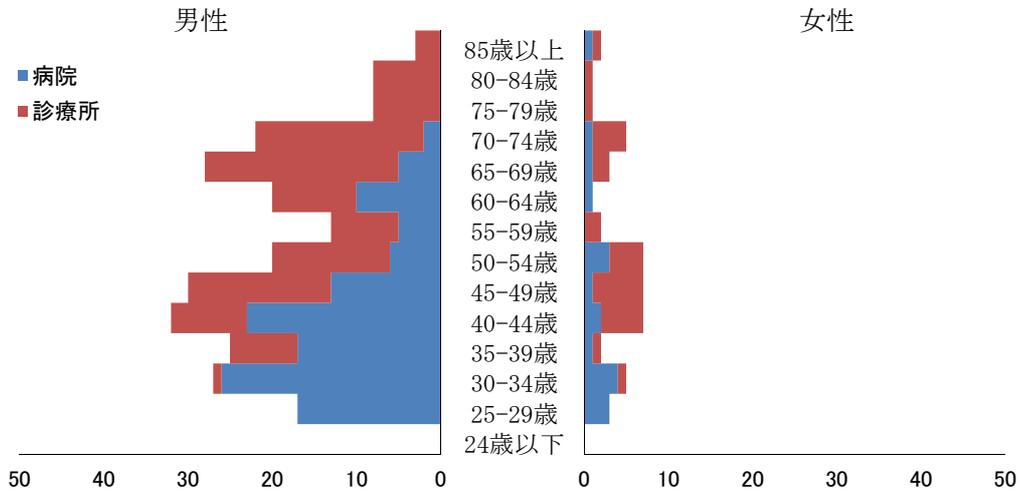
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

桐生医療圏

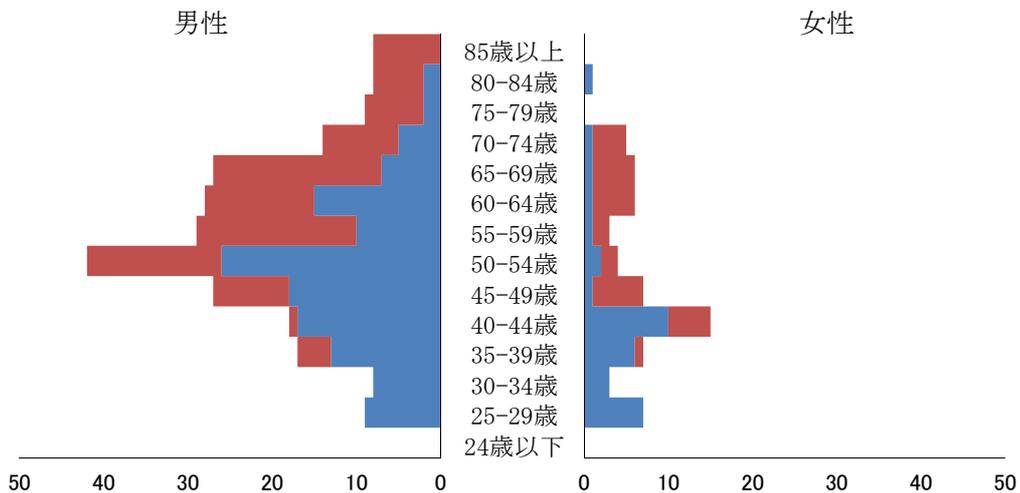
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

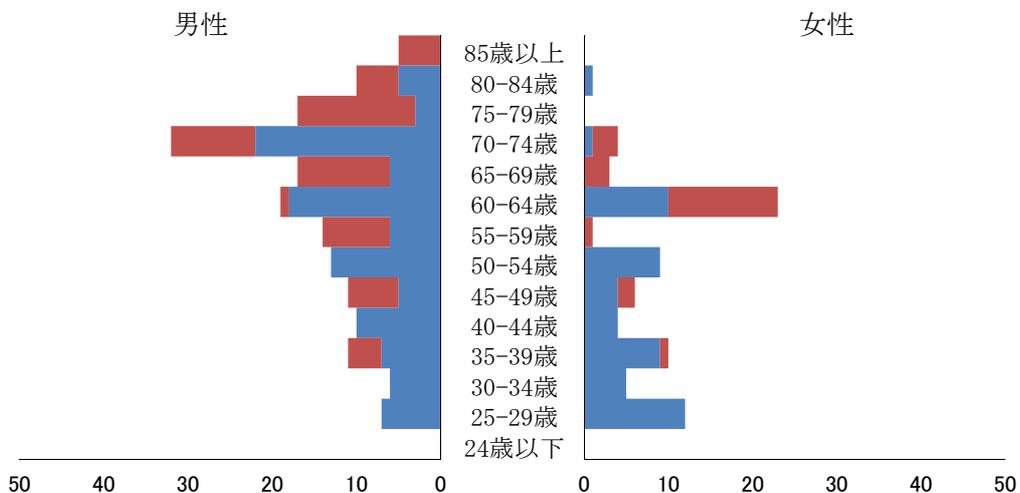
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

桐生医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	165,620	148,925	130,162	-35,458	-21%	-16,695	-10%	-18,763	-13%	
医療施設勤務医師数	308	286	253	-55	-18%	-22	-7%	-33	-12%	
人口10万対	186.0	192.0	194.4	8.4	5%	6.1	3%	2.3	1%	
男性医師数	244	211	167	-77	-32%	-33	-14%	-44	-21%	
人口10万対	147.3	141.7	128.3	-19.0	-13%	-5.6	-4%	-13.4	-9%	
女性医師数	64	86	103	39	61%	22	34%	17	20%	
人口10万対	38.6	57.7	79.1	40.5	105%	19.1	49%	21.4	37%	
病院勤務医師数	166	168	163	-3	-2%	2	1%	-5	-3%	
人口10万対	100.2	112.8	125.2	25.0	25%	12.6	13%	12.4	11%	
診療所勤務医師数	142	118	84	-58	-41%	-24	-17%	-34	-29%	
人口10万対	85.7	79.2	64.5	-21.2	-25%	-6.5	-8%	-14.7	-19%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	27	28	30	3	11%	1	4%	2	7%
	35-49歳	91	56	49	-42	-46%	-35	-38%	-7	-13%
	50-64歳	112	114	80	-32	-29%	2	2%	-34	-30%
	65歳以上	78	88	94	16	21%	10	13%	6	7%
	75歳以上(再掲)	26	33	36	10	38%	7	27%	3	9%
男性	24-34歳	17	18	13	-4	-24%	1	6%	-5	-28%
	35-49歳	62	35	27	-35	-56%	-27	-44%	-8	-23%
	50-64歳	99	84	48	-51	-52%	-15	-15%	-36	-43%
	65歳以上	66	74	79	13	20%	8	12%	5	7%
	75歳以上(再掲)	25	28	31	6	24%	3	12%	3	11%
女性	24-34歳	10	11	17	7	70%	1	10%	6	55%
	35-49歳	29	23	27	-2	-7%	-6	-21%	4	17%
	50-64歳	13	39	46	33	254%	26	200%	7	18%
	65歳以上	12	13	13	1	8%	1	8%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	5	5	4	400%	4	400%	0	0%
病院	24-34歳	27	28	30	3	11%	1	4%	2	7%
	35-49歳	65	43	39	-26	-40%	-22	-34%	-4	-9%
	50-64歳	55	70	58	3	5%	15	27%	-12	-17%
	65歳以上	19	27	36	17	89%	8	42%	9	33%
	75歳以上(再掲)	5	6	9	4	80%	1	20%	3	50%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	26	13	13	-13	-50%	-13	-50%	0	0%
	50-64歳	57	42	16	-41	-72%	-15	-26%	-26	-62%
	65歳以上	59	63	55	-4	-7%	4	7%	-8	-13%
	75歳以上(再掲)	21	29	26	5	24%	8	38%	-3	-10%
	85歳以上(再掲)	8	4	5	-3	-38%	-4	-50%	1	25%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

太田・館林医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は13,956人（4%）増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は110人（24%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は142人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均（31%）を下回る。

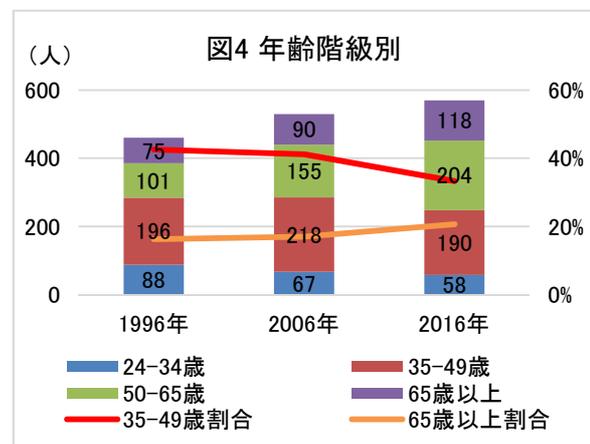
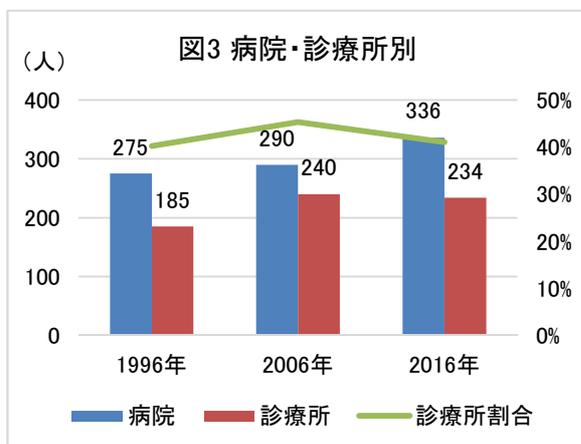
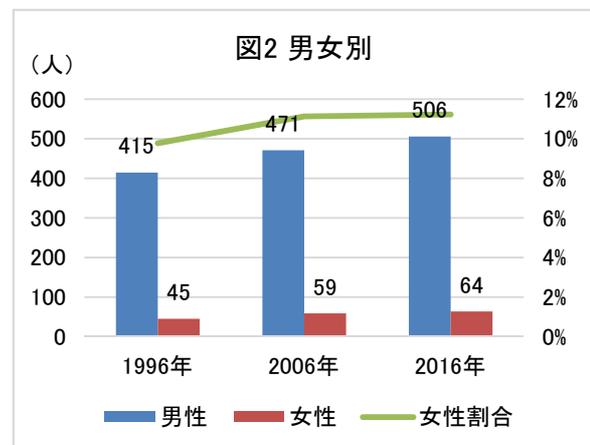
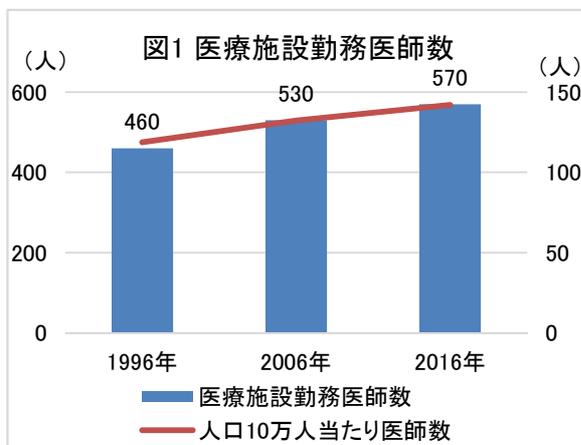
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて91人（22%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。女性医師は、同期間に19人（42%）増え、全国平均（111%）を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は11%と、全国平均（21%）を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて61人（22%）増え、全国平均（37%）を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に49人（26%）増え、全国平均（25%）を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は41%と、全国平均（34%）を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は6人（-3%）減り、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて43人（57%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

太田・館林医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	387,523	400,402	401,479	13,956	4%	12,879	3%	1,077	0%	
総医師数	469	544	588	119	25%	75	16%	44	8%	
人口10万対	121.0	135.9	146.5	25.4	21%	14.8	12%	10.6	8%	
医療施設勤務医師数	460	530	570	110	24%	70	15%	40	8%	
人口10万対	118.7	132.4	142.0	23.3	20%	13.7	12%	9.6	7%	
男性医師数	415	471	506	91	22%	56	13%	35	7%	
人口10万対	107.1	117.6	126.0	18.9	18%	10.5	10%	8.4	7%	
女性医師数	45	59	64	19	42%	14	31%	5	8%	
人口10万対	11.6	14.7	15.9	4.3	37%	3.1	27%	1.2	8%	
病院勤務医師数	275	290	336	61	22%	15	5%	46	16%	
人口10万対	71.0	72.4	83.7	12.7	18%	1.5	2%	11.3	16%	
診療所勤務医師数	185	240	234	49	26%	55	30%	-6	-3%	
人口10万対	47.7	59.9	58.3	10.5	22%	12.2	26%	-1.7	-3%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.3	50.7	53.5	5.3	11%	2.4	5%	2.9	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	88	67	58	-30	-34%	-21	-24%	-9	-13%
	35-49歳	196	218	190	-6	-3%	22	11%	-28	-13%
	50-64歳	101	155	204	103	102%	54	53%	49	32%
	65歳以上	75	90	118	43	57%	15	20%	28	31%
	75歳以上(再掲)	19	38	43	24	126%	19	100%	5	13%
男性	24-34歳	68	54	50	-18	-26%	-14	-21%	-4	-7%
	35-49歳	182	191	152	-30	-16%	9	5%	-39	-20%
	50-64歳	96	145	192	96	100%	49	51%	47	32%
	65歳以上	69	81	112	43	62%	12	17%	31	38%
	75歳以上(再掲)	18	33	41	23	128%	15	83%	8	24%
女性	24-34歳	20	13	8	-12	-60%	-7	-35%	-5	-38%
	35-49歳	14	27	38	24	171%	13	93%	11	41%
	50-64歳	5	10	12	7	140%	5	100%	2	20%
	65歳以上	6	9	6	0	0%	3	50%	-3	-33%
	75歳以上(再掲)	1	5	2	1	100%	4	400%	-3	-60%
病院	24-34歳	83	62	58	-25	-30%	-21	-25%	-4	-6%
	35-49歳	133	147	139	6	5%	14	11%	-8	-5%
	50-64歳	41	60	101	60	146%	19	46%	41	68%
	65歳以上	18	21	38	20	111%	3	17%	17	81%
	75歳以上(再掲)	6	6	14	8	133%	0	0%	8	133%
診療所	24-34歳	5	5	0	-5	-100%	0	0%	-5	-100%
	35-49歳	63	71	51	-12	-19%	8	13%	-20	-28%
	50-64歳	60	95	103	43	72%	35	58%	8	8%
	65歳以上	57	69	80	23	40%	12	21%	11	16%
	75歳以上(再掲)	13	32	29	16	123%	19	146%	-3	-9%
	85歳以上(再掲)	2	3	5	3	150%	1	50%	2	67%

太田・館林医療圏

＜医師数の推移＞

太田・館林医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、小児外科、形成外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	460	118.7	42	530	132.4	41	570	142.0	39	110	24%	23.3	20%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	178	45.9	41	202	50.4	40	214	53.3	38	36	20%	7.4	16%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	32	8.3	44	30	7.5	41	27	6.7	38	-5	-16%	-1.5	-19%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	12	3.1	38	26	6.5	43	23	5.7	38	11	92%	2.6	85%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	54	13.9	43	53	13.2	43	51	12.7	42	-3	-6%	-1.2	-9%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	1.0	59	2	0.5	50	2	0.5	48	-2	-50%	-0.5	-52%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	3	0.8	44	3	0.7	43	6	1.5	45	3	100%	0.7	93%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	11	2.8	43	11	2.7	41	14	3.5	41	3	27%	0.6	23%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	40	10.3	44	52	13.0	46	54	13.5	44	14	35%	3.1	30%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	5	1.3	52	1	0.2	41	3	0.7	42	-2	-40%	-0.5	-42%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	10	2.6	42	13	3.2	41	13	3.2	39	3	30%	0.7	25%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	16	4.1	40	22	5.5	40	23	5.7	39	7	44%	1.6	39%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	18	4.6	43	16	4.0	41	16	4.0	39	-2	-11%	-0.7	-14%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	17	4.4	51	20	5.0	51	21	5.2	49	4	24%	0.8	19%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	35	9.0	48	30	7.5	46	25	6.2	41	-10	-29%	-2.8	-31%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.3	44	3	0.7	44	5	1.2	45	4	400%	1.0	383%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	8	2.1	46	11	2.7	46	14	3.5	45	6	75%	1.4	69%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	10	2.6	46	15	3.7	47	25	6.2	48	15	150%	3.6	141%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	7	1.7	46	7		1.7	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				9	2.2	39	13	3.2	39	13	44%	1.0	44%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	6	1.5	44	11	2.7	45	14	3.5	43	8	133%	1.9	125%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

太田・館林医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は48,954人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は6人(-1%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は160人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は13%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

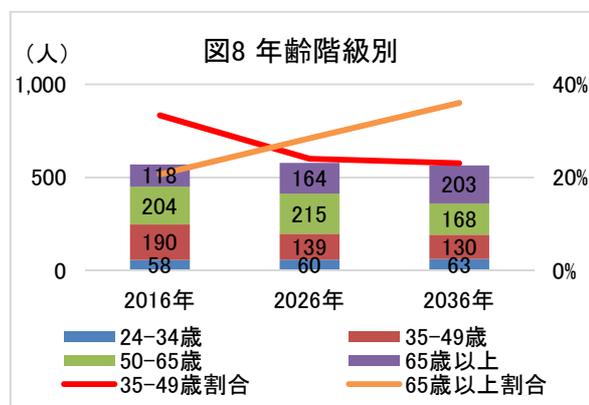
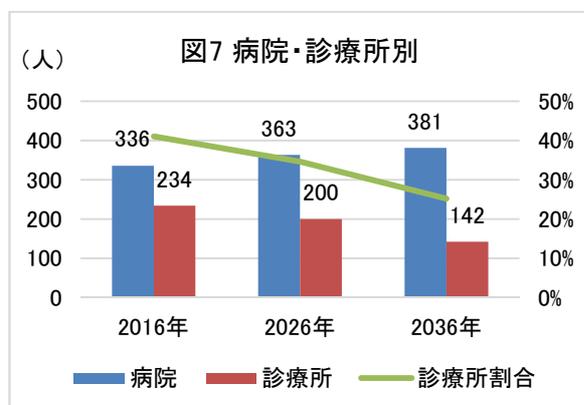
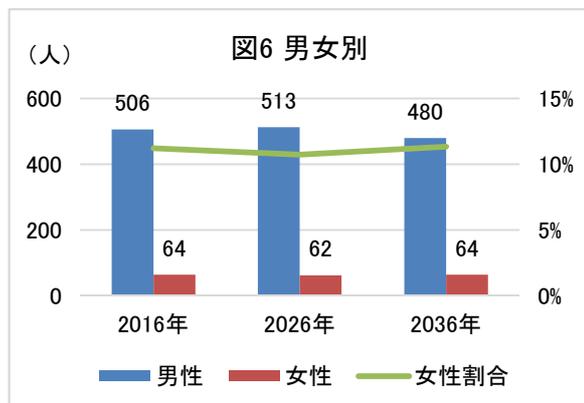
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて26人(-5%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は11%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて45人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に92人(-39%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は60人(-32%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて85人(72%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年36%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



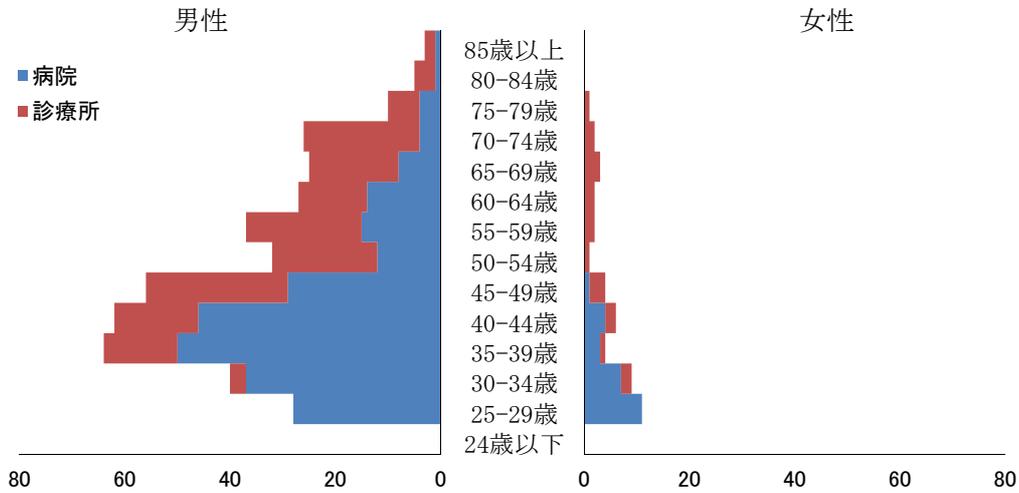
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

太田・館林医療圏

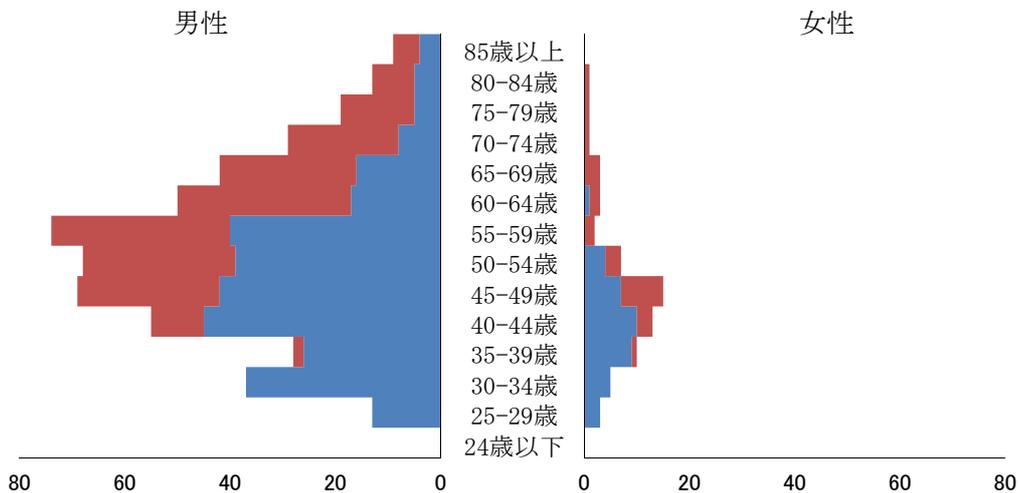
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

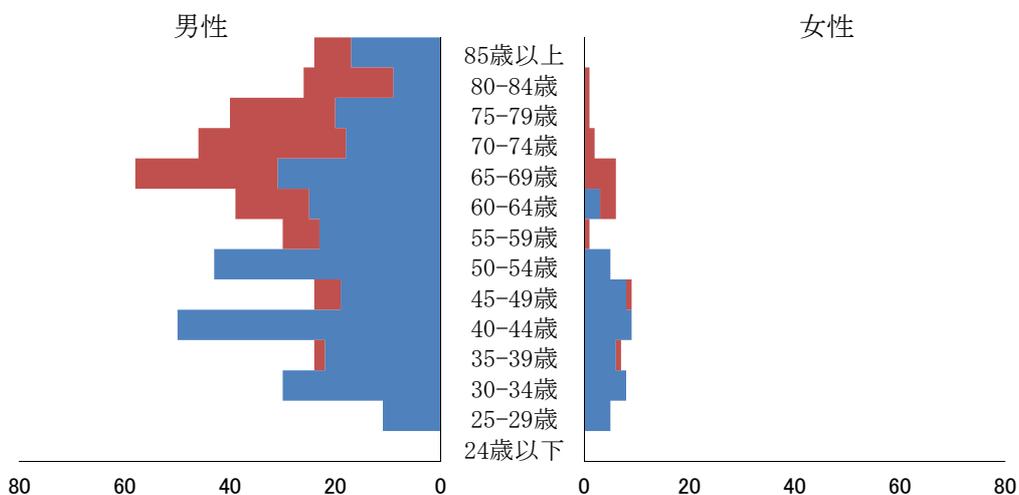
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

太田・館林医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	401,479	378,838	352,525	-48,954	-12%	-22,641	-6%	-26,313	-7%	
医療施設勤務医師数	570	578	564	-6	-1%	8	1%	-14	-2%	
人口10万対	142.0	152.6	160.0	18.0	13%	10.6	7%	7.4	5%	
男性医師数	506	513	480	-26	-5%	7	1%	-33	-6%	
人口10万対	126.0	135.4	136.2	10.1	8%	9.4	7%	0.7	1%	
女性医師数	64	62	64	0	0%	-2	-3%	2	3%	
人口10万対	15.9	16.4	18.2	2.2	14%	0.4	3%	1.8	11%	
病院勤務医師数	336	363	381	45	13%	27	8%	18	5%	
人口10万対	83.7	95.8	108.1	24.4	29%	12.1	14%	12.3	13%	
診療所勤務医師数	234	200	142	-92	-39%	-34	-15%	-58	-29%	
人口10万対	58.3	52.8	40.3	-18.0	-31%	-5.5	-9%	-12.5	-24%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	58	60	63	5	9%	2	3%	3	5%
	35-49歳	190	139	130	-60	-32%	-51	-27%	-9	-6%
	50-64歳	204	215	168	-36	-18%	11	5%	-47	-22%
	65歳以上	118	164	203	85	72%	46	39%	39	24%
	75歳以上(再掲)	43	59	83	40	93%	16	37%	24	41%
男性	24-34歳	50	52	41	-9	-18%	2	4%	-11	-21%
	35-49歳	152	112	106	-46	-30%	-40	-26%	-6	-5%
	50-64歳	192	188	143	-49	-26%	-4	-2%	-45	-24%
	65歳以上	112	161	190	78	70%	49	44%	29	18%
	75歳以上(再掲)	41	59	83	42	102%	18	44%	24	41%
女性	24-34歳	8	8	13	5	63%	0	0%	5	63%
	35-49歳	38	26	22	-16	-42%	-12	-32%	-4	-15%
	50-64歳	12	20	17	5	42%	8	67%	-3	-15%
	65歳以上	6	8	12	6	100%	2	33%	4	50%
	75歳以上(再掲)	2	3	3	1	50%	1	50%	0	0%
病院	24-34歳	58	60	63	5	9%	2	3%	3	5%
	35-49歳	139	118	112	-27	-19%	-21	-15%	-6	-5%
	50-64歳	101	115	108	7	7%	14	14%	-7	-6%
	65歳以上	38	70	98	60	158%	32	84%	28	40%
	75歳以上(再掲)	14	25	46	32	229%	11	79%	21	84%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	51	9	9	-42	-82%	-42	-82%	0	0%
	50-64歳	103	93	25	-78	-76%	-10	-10%	-68	-73%
	65歳以上	80	98	108	28	35%	18	23%	10	10%
	75歳以上(再掲)	29	38	44	15	52%	9	31%	6	16%
	85歳以上(再掲)	5	5	6	1	20%	0	0%	1	20%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)